

審議会等会議録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
司会	<p>定刻になりましたので、始めます。</p> <p>本日の司会進行を務めます久喜市教育委員会指導課の川島でございます。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>開会のことばを 副委員長 穂村 憲久様、お願いいたします。</p>
副委員長	<p>ただいまより 令和元年度 第2回久喜市教科用図書選定委員会を開会いたします。</p>
司会	<p>御挨拶を賜ります。</p> <p>久喜市教科用図書選定委員会委員長 村田 文雄 様 お願いいたします。</p>
委員長	<p>挨拶</p>
司会	<p>それでは、初めに資料の確認をいたします。資料は全部で4種類です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度第2回久喜市教科用図書選定委員会 会議資料 2 専門部会 調査研究 報告書 3 学校調査結果 及び 展示会アンケート 4 投票用紙 小学校用1枚 中学校用1枚 <p>以上でございます。不足がございますでしょうか。</p>
司会	<p>それでは「久喜市立小・中学校使用教科用図書の採択に関する規則」第7条の規定にしたがいまして、議長を選定委員会委員長の 村田文雄 様 お願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。お手元の次第にしたがって、議事を進めさせていただきます。</p>
議長	<p>まず初めに、「選定にあたって」事務局より申し上げます。</p>
事務局	<p>会議資料2ページをご覧ください。</p> <p>選定の手順について御説明いたします。</p> <p>まず「各学校における調査研究の結果」及び「教科書展示会でのアンケート」の扱いについて御説明いたします。</p> <p>次に、小学校、中学校ごとに、各教科の調査研究専門部会長による調査研究報告がございます。</p> <p>その後、質疑、応答の時間をお取りします。それが終わりましたら、専門部会長は退室し、皆さんに協議、そして、投票用紙に採点を記入していただきます。</p>

	<p>各出版社を5点満点で採点していただきます。選定委員が5名ですから、25点が満点となります。すべての教科の報告、協議、採点、投票が終了してから投票結果を集計し、皆様に報告いたします。</p> <p>その「投票結果」「各学校における調査研究の結果」及び「教科書展示会でのアンケート」、これらすべてを資料といたしまして、久喜市教育委員会令和元年7月定例会に提出いたします。</p> <p>本日の採点結果が、採択結果ということではございません。</p> <p>久喜市教育委員会定例会で採択されるものが「久喜市における令和2年度使用小学校用及び中学校用教科用図書」でございます。</p>
議長	<p>事務局案に御質問、御意見はありませんか。</p> <p>御異議なければ、「事務局案」で選定を進めてまいります。</p> <p>そこで、開票の公正を期すために立会人をつけたいと存じます。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>開票時の立会人として、選定委員の中から、青木 真一 様をお願いいたします。</p>
議長	<p>事務局案いかがでしょうか。</p> <p>御異議がなければ、続いては「各学校における調査研究結果、および展示会場におけるアンケートの扱い」です。</p> <p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>はじめに、各学校における調査研究の結果は、「学校調査結果及び展示会アンケート」の資料1ページをご覧ください。各学校はそれぞれの教科で持ち点が1点あります。学校からの報告には、1教科につき1社ないし2社の教科書を記載する方式を採用しており、1社の場合は1点、2社の場合はそれぞれ0.5点として計算しております。</p> <p>次に、久喜市での教科書展示会として、菖蒲総合支所会場がございました。開催期間は令和元年6月14日（金）から6月27日（木）までの14日間でございます。この間の来場者総数は405名でございます。内訳といたしましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・一般 22名 ・学校関係者 377名 ・教育委員会等関係者 6名 でございます。 <p>久喜市在住の保護者が記入されたアンケートにつきましては、参考資料とさせていただきます。</p> <p>また、皆様の前に見本本を準備いたしましたので、必要に応じてご覧ください。</p>
議長	<p>事務局の説明に御質問はありませんか。</p>

国語部会長

それでは小学校の調査研究報告を始めます。はじめに「国語」です。

国語科の教科用図書調査研究専門部会から報告いたします。

はじめに、「東京書籍（新しい国語）」について報告いたします。

「内容」では、つけたい力や学習活動を「言葉の力」として明記したり、語彙を広げる「ことばあつめ」を設定したりして、学習内容を明確に示すとともに、情報の扱い方に重点を置いた「書くこと」の単元を設定するなど、知識及び技能が習得されるようにするための工夫が見られます。また、「話すこと・聞くこと」では、身近なテーマを扱い、対話や話す・聞く、話し合うなどの活動を通じて、伝え合う力の育成を図ったり、学習モデル示したりするなど、思考力・判断力・表現力等の育成のための工夫が見られます。

児童が見通しを持って学習できるよう、各単元で共通した学習の流れが組まれていたり、学んだことを他教科や日常生活に生かす方法などを「生かそう」に掲載したりして、自分の成長が実感できるようにし、学びに向かう力などの育成の工夫が見られます。

読書教材「本は友達」、多様な図書紹介「〇年生の本だな」の設定、図書館の利用のしかたを学ぶ教材などにより、読書に親しむ態度を育成しようとしています。

「資料」としては、挿絵や写真を手がかりにして考えさせる工夫などの特色があります。1～4年は、上下巻の2分冊、5・6年生は、年間で1冊となっています。

「総括」としては、学習過程を3段階に明示し、児童が見通しを持って学習し、着実な力がつくようにする配慮、児童が考えを形成できる手立てを提示し、対話的な学びを通して思考が深まるようにする工夫などの特色があります。

次に、「学校図書（みんなと学ぶ 小学校 国語）」について報告します。

「内容」では、言葉集めや辞典活用など語彙を増やすための教材や、情報と情報の関係や情報の整理の仕方についての教材を位置付けるなど、知識及び技能が習得されるようにするための工夫が見られます。また、「話すこと・聞くこと」では言語活動を系統的に位置付け、「書くこと」では、各学年に応じた「レッスン」を設けることで主体的な学習活動を促すなど、思考力・判断力・表現力等の育成のための工夫が見られます。

巻頭の「〇年生でつけたい力」にリンクした「ふりかえり」を巻末に設け、目標を明確に示し、振り返らせ、学習者が達成感を味わえるように工夫したり、子どもたちの「問い」を引き出す「つぶやき読み」を設定するなど、学びに向かう力などの育成の工夫が見られます。

写真付きの関連図書や「読書教材」の設定、学校図書館や地域の図書館

などに関する教材等の設定により、読書に親しむ態度を育成しようとしています。

「資料」では、巻頭に「『みんなと学ぶ 小学校 国語』の使い方」があり、資料の活用がしやすくなっており、全学年とも上下巻の分冊となっているなどの特色があります。

「総括」として、1年間の学習や単元の学習の概要が明確に提示され、学習活動や学習過程が明確に示されるなど、児童が見通しをもって学習に取り組めるように工夫されていること、考えの形成を重視し、例示を充実させることで、主体的・対話的な学習を促す工夫がされていることなどの特色があります。

次に、「教育出版（ひろがる言葉）」について報告します。

「内容」では、まず、単元の学習内容を示した「ここが大事」を単元中と巻末に示し、学習内容を確認められるようにしたり、情報の扱い方を学ぶ教材を設けたり、重点的に語彙を豊かにするための教材を位置付けるなど、知識及び技能が習得されるようにするための工夫が見られます。また、多様な言語活動を設定し、児童がイメージ化できるようイラストを示したり、日常生活や他教科の学習で応用できるようにポイントを示したりするなど、思考力・判断力・表現力等の育成のための工夫が見られます。

学習過程を明確にし、言語活動を活性化し、自分の考えの形成に重点を置くなど、学びに向かう力などの育成の工夫が見られます。

単元末の関連図書、巻末付録の「〇年生で読みたい本」における図書紹介、読書に関わる書く活動、学校図書館の活用の仕方に関する教材等により、読書に親しむ態度を育成しようとしています。

「資料」では、文型や学習用語などを示した「言葉の木」、「言葉のまとめ」、「学ぶときに使う言葉」の掲載、全学年で上下巻の分冊となっているなどの特色があります。

「総括」としては、学習過程を「たしかめよう」「考えよう」「ふかめよう」「広げよう」の4ステップ構造に明確化し、児童がしっかりと読みを深め、見通しをもって言語活動ができるようにする配慮や、「てびき」の自分の考えを形成するための観点の例示・対話モデルによる主体的・対話的な学習を促すなどの特色があります。

次に、「光村図書（国語）」について報告します。

「内容」では、単元の学習内容を「たいせつ」に示し、学習のポイントを確認められるようにするとともに、「情報」の単元系列を設け、単元末に情報の扱い方のポイントをまとめるなど、知識及び技能が習得されるようにするための工夫が見られます。また、「話すこと・聞くこと」では、興味・関心をひく話題・題材を設定し、イラストや例話を示すことにより、

	<p>様々な対話的な学びの姿をイメージ化するなど、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫がされています。</p> <p>巻頭には、「国語の学びを見わたそう」を設け、学力の積み重ねを実感できるようにするなど、学びに向かう力などの育成の工夫が見られます。</p> <p>読書単元「本は友達」を設け、図書館の利用法や、読書の世界を広げる内容を掲載するとともに、単元末や巻末に豊富な図書紹介があり、「子ども司書になろう」など児童の活動例を設けることにより、読書に親しむ態度を育成しようとしています。</p> <p>「資料」では、「言葉のたから箱」や「学習を広げよう」を掲載し、学習内容を整理したり、学習活動時に参照したりできるようにしています。1～4年は上下巻の分冊、5・6年生は年間1冊となっています。</p> <p>「総括」としては、単元の初めや「学習」の見開きページに、学習の進め方を示し、学習過程を明確にし、見通しをもって学習できるようにする配慮や「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、児童の学びの姿が明確となる紙面構成とするなどの特色があります。</p> <p>以上で、国語科専門部会からの報告を終わります。</p>
<p>議長</p> <p>委員</p>	<p>ありがとうございました。それでは、御質問がございましたら、お願いします。</p> <p>いかがでしょうか。御質問等よろしいでしょうか。特にないようですので、ありがとうございました。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見があればよろしくお願いします。</p> <p>どの教科書も主体的・対話的で深い学びがキーワードになっていると考えられ、工夫された編集になっていると感じました。</p> <p>議長</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>書写部会長</p>	<p>続きまして、「書写」よろしくをお願いします。説明をお願いいたします。</p> <p>研究調査結果の報告をいたします。報告書の上から順に申し上げます。まず、学習指導要領の教科の目標との関わりです。</p> <p>どの教科書も、「知識及び技能」のみならず「思考力・判断力・表現力等」及び「学びに向かう力・人間性」などについてもバランスよく育成されるよう配慮しています。</p> <p>どの教科書も、文字を書く基礎となる事項から、「文字の集まりの書き方」に関する事項へと、内容を系統的に示しています。</p>

内容です。知識及び技能が習得できるようにするための工夫についてです。

文字を書く基礎となる「姿勢」、「筆記具の持ち方」、「点画や一文字の書き方」、「筆順」などの事項から「文字の集まりの書き方」に関する事項へと内容を系統的に示しています。

特に、今年度から学習指導要領解説に示された「水書用筆」等を使用した運筆指導を取り入れています。「水書用紙」を教科書に添付しているのは、1, 2年生の巻末に東京書籍、日本文教出版、1年の巻末に添付しているのは、光村図書、教育出版、東京書籍です。

次に、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫です。

児童が見通しをもって学習し、話し合ったりする活動をとおして、文字を正しく整えて書くことができるように構成されています。特に光村図書、教育出版は、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を養えるようにしています。

次に、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫です。

どの教科書も「めあて」「ふりかえり」を大切に、学びに向かう力、人間性が涵養される工夫があります。特に、毎時間文字を整えて書くことが習慣づくような工夫がされています。

特に光村「漢字図鑑」の配置（全学年）や、文字の歴史などのコラム等の提示により、文字への興味・関心を高め、伝統的な言語文化への理解が深められるようにしています。

教育出版では「伝え合う楽しさ」を知るために、全学年で「手紙」等を書く文例を提示しています。

次に、毛筆と硬筆との関連です。

毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上で年間30単位時間程度を配当するようにできています。毛筆による学習を通して、点画や点画の書き方への理解を一層深める工夫があります。

特に東京書籍では「書写のかぎ」、我が国の豊かな文字文化を理解し、継承、創造していくための基礎となる工夫がされています。

次に、各教科や日常生活との関わりです。

どの教科書も、言語活動を通し小筆や筆ペンなど、日常生活や他教科にも生きて働く書写の知識・技能を習得できる工夫がみられます。

横書き・英語・原稿用紙の使い方、連絡帳やノート、新聞の書き方等、各教科の学習活動や日常生活に生かすことのできる教材を各学年に設けてあります。

次に、資料についてです。

どの教科書にも、巻末に工夫があります。

当該学年までの漢字表が添付されていました。そこに書き順が示してあるのは、光村図書、教育出版、東京書籍、学校図書です。

	<p>表記・表現についてです。</p> <p>どの教科書も、レイアウトや表現に工夫がされています。シンプルで分かりやすいのは、光村図書でした。</p> <p>総括といたしましては、総じて、新学習指導要領のねらう「学びに向かう力、人間性」「思考力・判断力・表現力」「知識・技能」の育成に配慮した工夫がみられています。</p> <p>光村図書は、教科書全体が落ち着いていて、見やすいです。初任者教員でも、ベテラン教員でも、教材研究がしやすい教科書です。</p> <p>教育出版、東京書籍は、運筆等、丁寧に扱っており、初任者教員にも教材研究をしやすいです。</p> <p>学校図書は書き込み欄を充実しています。</p> <p>どの出版社も、動画で学ぶ工夫があり、教科書の機能が進化しています。</p> <p>以上で、報告を終わりにいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。御質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>それぞれの教科書がすごく工夫して作られていることがよくわかったのですが、例えば、光村の教科書の中で思考力・判断力・表現力を育成するために総合評価ができるようにすると書いてありますが、総合評価とはどんな感じのことですか。</p>
書写部会長	<p>話し合いの中で、子供たちが自分たちの意見を伝え合い、互いに見合っ て自分の文字をうまく書けるようにするというような内容です。</p>
委員	<p>東京書籍では、表記の右利き左利き両方の持ち方の掲載がございますが、他の教科書会社ではその辺はいかがでしょうか。</p>
書写部会長	<p>他の会社でも工夫が見られましたが、特に丁寧に扱っているのは東京書籍だったと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、専門部会長は退室をお願いいたします。</p> <p>では、ただいまの報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見のある方はお願いしたいと思います。</p> <p>わかりやすさであるとか、新任の先生方へも配慮してということで、教えやすさ等の配慮がされているということでもよろしいでしょうか。</p> <p>それでは協議を終わりにいたしまして、書写につきまして、投票用紙へ</p>

	<p>の記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>社会部会長</p>	<p>続きまして、「社会」よろしく申し上げます。説明をお願いいたします。</p> <p>研究調査結果を報告いたします。 最初に社会科教科書について説明いたします。</p> <p>東京書籍「新しい社会」です。 学習指導要領との関わりについて、「社会的な見方・考え方」を働かせた深い学びができるように工夫されています。「時間」「空間」「相互関係」の3つの視点と方法でどのような視点や方法で考えていくかが明確にわかるように示してあります。</p> <p>問題解決的な学習の流れ（「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」）を「学習の進め方」としてわかりやすく示しています。</p> <p>内容についてです。 語句を側注「ことば」で解説し、巻末にその索引が設けられています。また、「まとめる」では「ことば」一覧を提示し語句を生かすように促すことで学習内容の定着を図るようにしています。</p> <p>「まとめる」では、小単元の学習問題に立ち返り、各学年に応じて言語活動を軸にした多様な表現活動で学習がまとめられるように視点や方法が示されています。</p> <p>「教科かんれんマーク」がある箇所には関連する教科と学習内容が明記されており、他の教科の学習内容を意識しながら学習することを促しています。</p> <p>「いかす」では、学習したことをいかして社会的な事柄に参画したり、提案・発信したりするなど、社会とかかわる学習場面が例示されています。</p> <p>資料についてです。 学習を通して都道府県の構成が理解できるよう、事例地域が偏らないように配慮がされています。</p> <p>全単元で、興味・関心を高められるよう、資料が配列されています。</p> <p>資料の年次、出典を明らかにして、見開きごとに資料番号がつけられています。</p> <p>表記・表現についてです。 親しみやすいキャラクターの台詞を通し、社会的事象の見方・考え方のアドバイスがされています。</p> <p>単元の学習問題や本時のめあてが明確にされています。</p> <p>学習過程を色分けして、各段階の活動が明確にされています。</p> <p>総括です。 単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階を</p>

たどりながら、問題解決的な学習が進められるよう工夫されています。

側注の問い・資料で、資料の見方、読み取り方を示し、全学年を通じて社会的事象の見方・考え方を働かせ、考察できるように配慮されています。

5, 6年生の教科書については年間2冊に分冊されています。

教育出版の「小学社会」です。

学習指導要領との関わりについては、主体的・対話的で深い学びを示すために様々な場面をモデル図等を用いて子供の主体的な学びを促す工夫をしています。

「社会的事象の見方・考え方」の視点や方法を例示したコーナーを各学年巻頭に特設して問題解決的な学習の手がかりとなっています。

内容についてです。

語句を側注「キーワード」で取り上げ、巻末に大單元ごとにその索引が設けられています。また、「まとめる」では語句を振り返るよう促すことで学習内容の定着を図れるようになっています。

「学びのてびき」では、学習場面に応じた調査方法や資料の見方、読み取り方を示し、全学年を通じて系統的に資料活用の技能を習得できるように工夫しています。

「社会科の見方や考え方」では、「時期や変化」「比べる」「場所や広がり」「工夫や関わり」「総合する」の項目に分け、それぞれ何をどのように考えるのかということが示されています。

「つなげる」で自分たちにできることを考え、地域社会に対する誇りや愛情、世界の国々の人々とともに生きていこうとする自覚などを育てるようになっています。

資料についてです。

事例地については、学年や学校、地域の実態に応じて取り上げられています。

全単元で、興味・関心を高められるよう、系統性を意識して資料が配列されています。

資料の年次、出典を明らかにして、見開きごとに資料番号がつけられています。

表記・表現についてです。

キャラクターの台詞を通して、社会的事象の見方・考え方の視点が示されています。

「この時間の問い」では、学習問題の追究のための視点が示されています。

3・4年生の「活動」で本時の学習の流れが明示されています。

総括です。

「この時間の問い」と「次につなげよう」が繰り返されており、思考の

流れに沿って児童が主体的に学習できるよう配慮されています。

「解説」「学びのてびき」「キーワード」といった側注が適所に配置され、理解や思考を深められるように工夫されています。

続いて、日本文教出版の「小学社会」です。

学習指導要領との関わりについては、地図、年表を用いて位置や空間的な広がり時期や時間の経過を示しています。

問題解決的な学習過程のための工夫が見られ、親しみやすいようにキャラクターがセリフを発する形で児童が学習問題を追究できるようにしています。

内容についてです。

語句を側注「キーワード」「むずかしいことば」で解説し、巻末にその索引を設け、学習内容の定着を図るようにしています。

考えさせたい社会事象等の意味や意義、特色や相互の関連に迫るために、資料が見やすく配置され焦点化されています。

学び合う場面を効果的に設定し、思考が深まっていく流れが示されています。

「この教科書の使い方」で学び方を明記したり、巻頭に「社会科の学習でたいせつなこと」を示したりして、自発的に学習がまとめられるように工夫されています。

「わたし（たち）の問題」と「学び方・調べ方コーナー」を側注に設け、学習段階に合わせて学習問題を追究するための資料を活用できるように工夫しています。

資料についてです。

事例地に偏りがないよう、学校や地域の実態等に対応した配慮がされています。

全単元で、興味・関心を高められるように資料が配列されています。

資料の年次、出典を明らかにして、見開きごとに資料番号がつけられています。

表記・表現についてです。

キャラクターの台詞を通して、学習の具体的なアドバイスがされています。

学習の進め方や児童の疑問が本文中に示されています。

「見方・考え方」では、「空間」「時間」「関係」の3つの視点から社会的事象を捉えられるようにし、学習方法が明示されています。

総括です。

「さらに考えたい問題」で思考の連続性を意識し、問題解決的な学習を展開しやすいように単元構成が工夫されています。

資料の読み取り場面や話し合いの場面において、吹き出しで児童の発言

を例示し、学習内容の定着や思考の助けとなるよう配慮しています。

続いて、地図帳についての報告をいたします。

最初に東京書籍「新しい地図帳」です。

学習指導要領との関わりについてです。社会的事象の見方・考え方を習得できるような配慮がなされています。例えば、広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置し、日本の位置及び範囲、領土に関する問題、自然災害と防災などについて正確な理解が図れるようにしています。

内容についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を習得されるようにするための工夫については、「地図帳の使い方」では、地図記号や索引、方位、縮尺、地形表現、土地利用といった基本的な地図の読み方を、具体例を提示しながら説明しています。

地球儀の活用について、実際に活用している場面の写真を使い説明しています。

「日本の歴史 世界との関わり」で、歴史的事象を、地図上で空間的にとらえられるように配慮しています。

各図の着眼するべきポイントを、人物キャラクターが台詞でヒントとして示し、児童が気付き考えられるように工夫しています。

タブレットパソコンなどを用いて、学習を深められるようなクイズや資料などのコンテンツが入っている「Dマーク」を適所設けています。

地図・資料の特徴について

基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新データを収集して掲載し、資料図に提示した統計図についても最新データを用いています。

資料についてです。

地図帳の使い方や読み取り方、活用の仕方に関する資料を載せ、グラフやイラストを効果的に活用し、地図帳導入期の指導に配慮した構成になっています。

索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、児童の発達の段階に応じた指導ができるよう赤、黒の2色で色分けされ、チェック欄を設けています。

統計資料は、都道府県と世界の国ごとに示された地方・地域別に色分けしています。

表記・表現についてです。

各図の着眼点や課題などを、人物キャラクターの台詞で示しています。

陸の高さは5～10段階、海の深さは3～7段階で色分けし、大都市周辺の地図では土地利用の様子を8色で表現しています。

日本地図と歴史的事象を併記して、児童が空間的に捉えやすくなるように配慮しています。

総括です。

巻頭に「都道府県の区分」や「地図帳の使い方」があり、児童の発達の段階に応じた調べ方の指導ができるようにしています。

「Dマーク」があるページでは、インターネットを使った学習を設けています。

歴史学習での活用のために、年表と世界の歴史地図を大きく掲載しています。

続いて、帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」です。

学習指導要領との関わりについては、主体的・対話的で深い学びのために、資料活用能力を高める機能としてタブレットパソコンなどで読み込める二次元コードを設置しています。様々なコンテンツで学習の支援が得られます。

内容についてです。

「地図のやくそく」では、「トライ！」という作業的な学習を設けています。

「地図帳の使い方」では、地図記号や陸の高さ、土地利用、索引、縮尺、地図の種類といった基本的な地図の読み方を示しています。

「日本の歴史と世界文化遺産」では、日本のおもなできごとを年表で示し、世界文化遺産を空間的な広がりで見えやすくできるように配慮しています。

児童が知的好奇心をもつような問いを設け、地図帳活用のスキルを身に付けさせることができるように、「地図マスターへの道」を多数設けています。

タブレットパソコンなどを用いて、学習を深められるようなクイズや資料などのコンテンツが入っている二次元コードを適所設けています。

基本図は、国土地理院発行の100万分の1の地形図をはじめ、最新データを収集して掲載し、資料図に提示した統計図についても最新データを用いています。

資料についてです。

地図帳の成り立ちや使い方、読み取り方などを示し、地図帳導入期の指導に配慮した構成になっています。

索引は、地名の前に地名の種類を表す記号が示され、項目を赤、青、緑、黒の4色で色分けして表現しています。

統計資料は、都道府県と世界の国ごとに示された地方・地域別に色分けしています。

表記・表現です。

	<p>各図の着眼点や課題などを、人物キャラクターの吹き出しで示しています。</p> <p>陸の高さは3～6段階、海の深さは1～6段階で色分けし、大都市周辺の地図では土地利用の様子を8色で表現しています。</p> <p>日本及び世界の地域地図では、その地図が全体のどの辺りなのかを示しています。</p> <p>総括として、巻頭に「世界発見！」や巻末に「地図マスターへの道」を設け、児童が主体的に地図帳を活用したくなるような構成になっています。</p> <p>二次元コードがあるページでは、インターネットを使った学習を設けています。</p> <p>児童の発達の段階に配慮し、広く見わたせる地図や大きなイラストを掲載しています。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、今の報告に質問のある委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>社会ですが、いずれも事例地については学校や地域の実態に応じて配慮とあったと思いますが、具体的にどういう配慮があるのとらえればよろしいでしょうか。</p>
社会部会長	<p>例えば、久喜市は埼玉ですが、関東だけに限らず全国各地を題材にしてまんべんなく構成されています。</p>
委員	<p>いろいろ新しい工夫がされていて素晴らしいと思いますが、東京書籍にはDマーク、帝国書院には二次元コードがついていますが、それを使うとどんな感じになるのかということをもう少し詳しく説明してください。</p>
社会部会長	<p>二次元コードについては、帝国書院では6ページのところにコンテンツメニューということで、バーコードが提示してあります。読み取ることによって、そのページについてのクイズ、資料がさらに表示されて、子供たちが主体的に、意欲的に学習できる工夫があります。</p>
委員	<p>東京書籍にはDマークとありますが、違いはありますか。</p>
社会部会長	<p>東京書籍では、例えば69ページのところに日本の自然、気候、地形がありますが、右側に「どこの気候かわかるかな？」気象庁キッズコーナーというものがあり、他に調べることによってさらに詳しく自然、気候、地形について学べるということです。</p>

<p>委員</p> <p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>その他よろしいでしょうか。ありがとうございました。専門部会長は退室をお願いします。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見のある方はお願いします。</p> <p>地図帳では、見やすい、わかりやすいという視点も工夫されていると思います。</p> <p>では、社会と地図の2つです。投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>算数部会長</p>	<p>続きまして、「算数」よろしくをお願いします。説明をお願いいたします。</p> <p>6社で重なる内容がかなりありますので、それぞれについて、特徴的だと思う部分のみを抽出して述べていきます。</p> <p>15ページからご覧ください。</p> <p>東京書籍の「新しい算数」です。</p> <p>内容の知識及び技能の習得に関しては、図と式を関連づける複数の考え方や図形のかき方、用具の使い方などの技能面を写真や絵、Dマーク（映像）を用いて確認できるようになっていました。</p> <p>思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、課題解決のためのテープ図や数直線が効果的・系統的に構成されており、それらを用いて説明したり話し合ったりする活動を取り入れていました。また、数学的な見方・考え方や学習の手がかり、学習の仕方が吹き出しや囲み等で示されていました。</p> <p>学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、デジタルコンテンツを設定し、Dマークで示されていました。数学的活動の支援、学習効果の向上等、主体的な学習の支援となっていました。</p> <p>総括としては、もくじに、「前の学習」、「後の学習」が單元ごとに示してあり、学習内容や数学的な見方・考え方の関連や系統を意識できるようになっていました。また、巻末の「ふりかえりコーナー」で、用語等を確認できる構成になっていました。</p> <p>次に16ページ、大日本図書の「たのしい算数」です。</p> <p>内容の知識及び技能の習得に関しては、図形の描き方、用具の使い方を写真や絵を用いて丁寧に扱っていました。</p> <p>思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、学習のまとめに、考え方</p>

に焦点をあてた「発見！考え方」が取り入れられていました。また、より汎用的に使える見方・考え方をひらめきアイテムとして、学習した数学的な見方・考え方を、今後の問題解決で使えるようにする工夫がなされていました。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、各学年の巻頭の「算数の学び方」に「学習の進め方」や「ノートの例」が示されていました。日常事象を扱い、主体的に学習に取り組めるように工夫されていました。また、学習したことを家庭での生活にも生かすよう促す「おうちで算数」を、1年生から3年生に新設しており、ウェブサイトには、保護者向けのサポートページも用意されていました。

算数の面白い問題やお話、キャリア教育につながる仕事インタビューなど、様々な題材を豊富に用意したコラム「ふくろう先生になるほど算数教室」を3～6年に新設しており、算数への興味・関心を一層高められるようにしていました。

次に、17ページの学校図書「みんなと学ぶ算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、作図の仕方について連続写真で提示するなど、基礎的・基本的な技能がしっかりと身につくように工夫されていました。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「考える力」を同じように考える力、きまりを見つける力、理由をいう力、「判断する力」を間違えを見つける力、特徴で分類する力、考えを比べる力、「表す力」を文章を図や式に表す力、資料を表やグラフに表す力、友だちや自分に伝える力のそれぞれ3つずつに分け、分かりやすくまとめていました。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、数学的活動の問題に「活動マーク」が示されており、測る・比べる・分ける等の活動をしながら、興味・関心をもって学習できる工夫がなされていました。

表記・表現としては、数学的な考え方やヒントが吹き出しや囲みで、学習の仕方は記号で表示されていました。

総括として、関連する既習の学習内容がもくじに示され、振り返って学習を進めることができ、巻末の索引で用語等が確認できる構成になっていました。

次に、18ページの教育出版「小学校算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、「まなびリンク」で、繰り返し学び直したり、用具や計器の使い方等技能面を動画で確認したりできるようになっていました。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、「なるほど！」のマークで振り返る視点を与えて見方・考え方のよさを味わえるようにしてしまし

た。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、「学びのマップ」「広がる算数」「ステップアップ算数」のページで、児童が自ら学べるようになっていました。

数学的活動の充実に関しては、言語活動を豊かにするために、数学的な見方・考え方を引き出す言葉を整理し、多様な考え方のつなげ方、広げ方、深め方を示していました。

総括として、環境や防災、福祉、情報など現代的な諸課題を題材に扱っていました。

続いて、19ページの啓林館「わくわく算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、QRコードを記載して数直線やテープ図のかき方を示し、技能面の定着が図れるようになっていました。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、図や表、考えの手立てとなる言葉が掲載されており、立式や計算の仕方の根拠をそれらと関連付けて考えられるようになっていました。また、数学的な見方・考え方を働かせやすくする子どもの吹き出しとそれに対応する記述が示されていました。

学びに向かう力、人間性等の涵養に関しては、6年の教科書の「ひろがる算数」で、算数を実生活で活用している説話を掲載し、算数を学ぶ意義が示されていました。

総括として、児童が主体的に学習できるように、問題解決的な学習が進められる構成になっていました。また、数学的な思考力・表現力を高められるように、既習の活用や考え方についてヒントの提示や、適用問題の充実がなされていました。

次に、20ページの日本文教出版「小学算数」です。

内容の知識及び技能の習得に関しては、単元の前に「次の学習のために」、終わりには「確かめるページ」が設けられ、既習事項を確かめられるようになっていました。また、「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」で、子ども一人ひとりの実態に応じて柔軟に取り扱うことができ、習熟度別指導にも活用できるような応用的・発展的な問題が用意されていました。

思考力・判断力・表現力等の育成に関しては、数学的な見方・考え方を働かせられるよう、視点を「カギマーク」で示していました。

数学的活動の充実に関しては、「Hello! Math」「つなげる算数」で、学んだことを生活の場面に活かし、算数の楽しさや意義を実感できるようなページがありました。また、

「WEB」マークのある所は、デジタルコンテンツが用意されており、視覚的・操作的で理解しやすく工夫されていました。

	以上になります。
議長	ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。
委員	分冊されているものについて、どういうねらいがあるのですか。
算数部会長	例えば1年生の教科書は、文字が少なく1冊だと教師の側がわかっていないとどんどん進んでいってしまうので、教師が計画的にできるように2冊に分けていると思います。
議長	<p>それでは、御報告ありがとうございました。退室をお願いします。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見のある方はお願いします。</p> <p>では、協議を終了し、算数の投票用紙への記入をお願いします。</p> <p>それでは、ここで、10分間の休憩に入ります。10時10分から再開ということで、休憩に入ります。よろしくお願いします。</p>
議長	続きまして、小学校「理科」専門部会長より御報告をお願いします。
理科部会長	<p>失礼いたします。これから「小学校 理科」における研究調査の結果につきまして、御報告いたします。</p> <p>1社目 21ページ、東京書籍「新しい理科」について報告します。 内容については実験・観察、まとめの後に学びを活用し深める課題が設定されています。単元末に問題が設定され、学んだ知識・技能の定着を図ることができるようになっています。 資料として、実験や観察の様子や資料の写真が大きく、また、二次元コードやアドレスによるデジタルコンテンツが充実しています。 表記・表現では、重要な語句は太字で下線も引かれている点や、インクルーシブ教育の視点も配慮されていました。教科書の大きさが縦A4判であり他社とは違うサイズとなっています。 総括として、他教科との関連性や、キャリア教育も意識されていました。各学年で問題解決の力をつけるための工夫が見られました。</p> <p>2社目 22ページ、大日本印刷「たのしい理科」について報告いたします。 内容については、予想を立てるための計画をきちんと紙面を使って説明</p>

し、児童自らが理科の「見方・考え方」を働かせながら問題を見出せるようになっていきます。

資料として、「メダカの受精卵の変化」の写真が2方向から写した写真など実際の観察や実験に配慮した点がありました。発展的学習のための教材や科学的読み物などの資料も多かったです。

表記・表現では、「問題」のページと「結果」「考察」「結論」のページが同じ見開きにならないように配慮されています。また、該当学年で学習していない漢字についてはフリガナがついていました。

総括として、問題を見つけることから結論までの問題解決をととても大事にしていると思いました。理科を苦手とする教師でもきちんと指導が行えるつくりになっていると思います。また、説明の文言や資料の数などを精選しており、すっきりと見やすくなっていました。

3社目 23ページ、学校図書「みんなと学ぶ 小学校理科」について報告いたします。

内容について、単元の導入時に学習の流れを提示し、見通しが持てるよう配慮されています。キャラクター同士の会話から、その会話全てを示していなかったり、異なる意見が書かれているなど、児童の考えを引き出したりして、見通しをもったり、考えを深めたりできるような工夫がされています。児童のノートの記述例が示され、児童の表現力を引き出せるような工夫がありました。

資料では、自然の多様性、共通性、連続性が実感できる資料が掲載され、生物を愛護する態度を養う場面が設けられていました。

表記・表現では、問題文や、活動がわかるように効果的に色文字を使用しています。また重要用語は太字で書かれています。

総括として、巻頭で学習の流れを意識させるような工夫がされています。

4社目 24ページ、教育出版「未来をひらく 小学校理科」について報告いたします。

内容について、生命・地球に関する観察や実験が豊富となっています。知識の定着のために、観察カードやノートの例を掲載し、問題解決の過程や観察・実験の結果を的確に記録できるようにしてあります。「見つけよう」から「学びを広げよう」までの一連の問題解決の過程を「学習の進め方」として設定し「ノートの取り方」と対応させ見開きで掲載しています。

資料として、実物大の資料や見開き資料など大きく見やすい資料が豊富です。また、埼玉県に関連した場所の写真を各学年で豊富に使用していました。

表記・表現では、人権教育に関連した内容を取り扱い、ユニバーサルデザインに配慮した教材となっています。発達段階に応じた工夫もあり、全

	<p>での児童が学びやすい教材でありました。</p> <p>総括として、他教科の学習と理科を関連付け、教科横断的な学びが意識されていると思いました。</p> <p>5社目 25ページ、啓林館「わくわく理科」について報告いたします。</p> <p>内容について、知識及び技能の習得のために、問題から予想、観察・実験の流れになるように、活動の流れがわかりやすく示してありました。思考力育成については「活用しよう」で問題を解くだけでなく、なぜそう考えたのかも書くことによって、思考力・判断力・表現力等が高められるようになっていました。</p> <p>資料については、単元末や巻末に学習内容に関連した資料があるとともに、二次元コードもあります。また、実験で使用する器具の使い方が巻末ではなく、その実験を行うページに大きく載っていました。</p> <p>表記・表現については、問題とまとめて色を変えたり、太字にすることや発展的な学習では、どの学年につながっていくかも示され、より系統性を意識していました。</p> <p>総括として、「まとめノート」で学習内容を分かりやすく1ページにまとめ、児童の単元の振り返りを助けていました。</p> <p>これで、理科の報告を終わりにします。</p>
<p>議長</p> <p>委員</p> <p>理科部会長</p> <p>議長</p>	<p>はい。それでは、委員の皆様から御質問がある人はお願いします。</p> <p>東京書籍の中で、インクルーシブ教育への配慮について、いくつか御指摘がありました。具体的にはどうのことですか。</p> <p>さまざまな人種のお子さんの様子であったり、車いすに乗っているお子さんなどのイラストが使われているなどの工夫が見られました。</p> <p>他にございますか。よろしいでしょうか。報告ありがとうございました。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議に移ります。御意見のある委員さんはお願いします。</p> <p>では、協議を終わりにいたしまして、投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>生活部会長</p>	<p>続きまして、「生活」について、専門部会長より報告をお願いします。</p> <p>生活科の教科用図書につきまして、御報告いたします。26ページからご覧ください。</p> <p>まず、2 東書につきまして報告いたします。</p>

内容につきましては、A4版の大判教科書で、多様な表現活動や交流活動が例示され、児童の表現活動の参考になるよう工夫されています。

資料につきましては、実物大の動植物のイラストが掲載された「ポケット図鑑」は切り離して使うことができます。また、巻末の「かつどうべんりてちょう」は、生活科で学習する習慣や技能、学び方が身につくよう配慮されています。

表記・表現につきましては、単元名や各コーナーが定位置にあり、学習の流れが見やすいように工夫されています。

総括といたしましては、スタートカリキュラムを重視し、入学当初の学習を円滑に進められるよう工夫されています。教科横断的な指導、中学年以降の教育への接続についても例示がされており、学びのつながりを意識された構成になっています。

次に、4 大日本につきまして報告いたします。

内容につきましては、思考力・判断力・表現力等を育成するために、「風船マーク」に「ここで何をすればよいのか」が書かれており、目的意識をもって活動に取り組めるよう工夫されています。

資料につきましては、上巻「たんけんカメラ」下巻「透明シート」など、切り取って活動するページがあり、児童が興味をもって考えられるよう工夫されています。

表記・表現につきましては、「せいかつことば」として、児童が思いを表現できるような言葉がたくさん例示され、表現意欲を高める工夫があります。

総括といたしましては、参考となる写真・さし絵等図鑑的な要素や、児童の感覚や世界を豊かにする紙面表現が多く、児童の思いや願いを引き出す工夫が多く見られます。

次に、11 学図につきまして、報告いたします。

内容につきましては、楽しそうな活動の様子や動植物を大きな写真で掲載し、活動への意欲付けを図れるように工夫されています。また、発達段階に配慮したカード記録の書き方を例示し、見る観点や調べる観点到気付くように工夫されています。

資料につきましては、巻末に「生活科学び方図かん」、単元の途中に「ものしりノート」が配置され、学習スキル、遊び方や表現方法等が紹介されています。

表記・表現につきましては、単元が大きく4つの段階に分けて示され、活動の展開に見通しが持てるように工夫されています。

総括といたしましては、4人の子供たちが、共に悩み、喜び、励まし合いながら協力し合って成長していく様子を盛り込むことで、対話的な学び

を通して自分の考えを変容させ、豊かな人間性を育むように構成されています。

次に、17 教出につきまして御報告いたします。

内容につきましては、具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるために、「ヒント」コラムとして、「見付ける・比べる・試す・見通す・工夫する」などの学習活動を繰り返し提示しています。

資料につきましては、巻末の「学びのポケット」に各教科の知識・技能を整理し、合科的・関連的な指導をサポートするような工夫がされています。

表記・表現につきましては、ヒント・約束・マナー・安全面など大切な情報は、奇数ページの右肩に記載されています。

総括といたしましては、小単元の始めに、育む6つの力「きづく・じぶんでできる・かんがえる・つたえる・ちょうせんする・じしんをもつ」が示され、単元の最後の振り返りページ「なにをかんじたかな」では、自信や意欲のバロメーター「まんぞくハシゴ」があり、自己評価できるように工夫されています。

次に、38 光村につきまして御報告いたします。

内容につきましては、各単元が、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の学習過程を明確にして、授業が進められるよう構成され、児童が目的意識をもって意欲的に学ぶことができるよう工夫されています。

資料につきましては、繰り返し貼ったり、剥がしたりできるジャンプシートがついていて、視覚化でき、自分の成長を振り返ることができます。

表記・表現につきましては、ユニバーサルデザインの観点から書体、字形、配色等の工夫があります。

総括といたしましては、数多くの写真、様々なタッチの絵やイラストが特徴的で、言葉を大切にしたり吹き出しや問いかけにより、活動への関心・意欲が引き出されます。また、スタートカリキュラム期に見取るべき10の姿を網羅し、合科的・関連的に生かせる活動を豊富に紹介しています。

次に、61 啓林館につきまして報告いたします。

内容につきましては、「がくしゅうずかん」があり、学習のしかた、きまりや道具の使い方、四季の自然等の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされています。

資料につきましては、上巻巻頭に「スタートブック」、下巻巻末に「3年生へのステップブック」があり、幼児教育や3年生以降とのつながりに配慮しています。

表記・表現につきましては、「めくり言葉」で、次の活動への思いや願

	<p>いの連続性を大切にしたい気が繰り返して深まる構成になっています。</p> <p>総括といたしましては、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階の構成で、学習過程の導入・活動・まとめの流れがとらえやすく、繰り返し学習することで、学びの基礎が身につく構成になっています。</p> <p>最後に、116 日本文につきまして報告いたします。</p> <p>内容につきましては、単元を通して必要となる知識や技能は「ポケット図かん」、様々な場面で身につけさせたい知識及び技能は、巻末図鑑の「ちえとわざのたからばこ」に整理され、情報が豊富です。</p> <p>資料につきましては、ホームページから授業で使えるデジタルコンテンツとして、学習カードやイラスト素材、関連動画などが提供されます。</p> <p>表記・表現につきましては、子どもの気付きを促す説明や思考・創意工夫を引き出す言葉が随所に用意されています。</p> <p>総括といたしましては、教育内容等を教科等横断的な視点で組み立てることができるようになっていきます。また、「ふりかえりつなげる」学びの窓では、学びの定着を図り、次の課題につなげ学習意欲を継続できるよう配慮されています。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。御質問がありましたらお願いします。</p> <p>特にはございませんでしょうか。それでは、ありがとうございました。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行います。御意見のある方はお願いします。</p> <p>写真などの提示が工夫された編集になっていると感じました。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。生活です。</p>
議長 音楽部会長	<p>続きまして、「音楽」に移ります。専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>失礼します。音楽ですが、実際に教科書を見ながら説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>音楽のおくりもの 教出ですが、5年生の教科書を中心に御説明させていただきます。また、教芸 小学生の音楽ですが、5年生、2年生、3年生を中心に話をさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、小学校音楽 音楽のおくりものについて御説明いたします。</p> <p>この教科書の内容について、特徴的な部分を教科書の実際のページを開きながら御説明いたします。</p>

まず、知識及び技能が習得できるようにするための工夫について申し上げます。

全体的に基礎・基本を身に付けさせるために、発達の段階に即した学習内容を系統的に配置するとともに知識・技能の定着に配慮し、必要に応じて学年内あるいは複数学年にわたり継続的・発展的に学習出来るよう工夫されています。

続いて思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について申し上げます。

5年生22、23ページをご覧ください。「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として見開きごとに示し、「音楽的な見方・考え方」を働かせ、思考・判断しながら表現を深めていくことが出来るよう配慮されているということがわかります。

5年生26、27ページをご覧ください。「学び合う音楽」「音のスケッチ」では、児童が楽曲の特徴やしぐみをとらえ、表現を工夫していく学習の過程や学び方を身に付けられるよう、具体的な例を用いてわかりやすく示されているということです。

続いて、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫について申し上げます。

5年生46、47ページをご覧ください。音楽づくりの活動において、系統的にそれぞれの学年の発達段階に応じた内容を工夫し、いずれもグループの中で役割分担をして児童同士の関わりの中で創作活動を楽しめるよう配慮されています。

5年生3ページをご覧ください。多様な学びに対応するためにをご覧ください、「まなびリンク」として、目次にQRコードが載っています。学習に役立つ情報をWEBコンテンツとして紹介しています。これが通常の楽曲、例えば38ページ右下にマークがあると思いますが、そういうところから楽曲を聴くことができます。

続いて、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫について2点申し上げます。

1年生46から49ページをご覧ください。身の回りで見つけた音を生かした音遊びや即興的に表現することを音楽づくりの活動につなげられるよう、各学年の発達段階に配慮した工夫がされています。

5年生34ページから39ページです。わらべうたや各地のお祭りの音楽や民謡などが豊富に掲載され、60ページには選択教材として和楽器にチャレンジできる内容が盛り込まれています。

続きまして、資料についての特色をご説明申し上げます。

巻末77ページをお開きください。リコーダーの指使いが折込ページになっています。その折込ページをのばすと、どのページのからでも指使いを参考にしながら学習をすることが出来るような工夫がされております。

31ページをお開きください。学習を進める際の手立てとして透明シートを活用し、巻末76ページには音楽の要素がまとめられています。

1年生32ページから39ページをお開きください。鍵盤ハーモニカの鍵盤部分が実物大写真で掲載され、楽器と連動させて使える工夫がされており、

続きまして、表記・表現の特色について御説明申し上げます。

どの学年も全体的に教材が見開きになっており、教科書の大きさや楽譜、文字の大きさ等も発達段階に応じております。

5年生25ページをお開きください。小学校学習指導要領外の内容は「はってん」とし、記号や用語については、巻末や別枠に示されております。

74ページをお開きください。〔共通事項〕が教材ごとに「音楽のもと」として示され、3年～6年生はメモ欄が設定されております。

最後に総括です。

歌唱共通教材は、歌詞から想像される季節感や情景を重視した扱いができるよう「にっぽんのうたみんなのうた」として配置され、写真、資料からも曲の背景を知る手掛かりとなるよう工夫されています。

紙面編集全体的に、特別支援教育の視点に立った配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がされています。

著作者の創造性を尊重する視点から、名前に振り仮名を加えています。

以上、小学音楽 音楽のおくりものについて御説明いたしました。

続きまして、小学生の音楽、教芸、発行者番号27番について説明申し上げます。

まず、知識及び技能が習得できるようにするための工夫について申し上げます。

6年間を通して段階的、系統的に学習できるよう題材が構成され、題材のねらいに即した教材配列により、積み重ねや繰り返しの学習や学びの積み重ねができるように工夫されている特徴がございます

次に思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫について申し上げます。

5年生34ページ、35ページをお開きください。作品例やワークシート例、グループ活動時の会話をキャラクターの吹き出しで学習のヒントとして示し、工夫するポイントや意見交換する観点を記したワークシートが示されています。

2点目といたしましては、学習の目当てを分かりやすく文章で説明したり、体の動きを取り入れたりして、子どもが思考を深め表現できるよう工夫されています。

次に、学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫について申し上げます。

5年生38ページをお開きください。1つの音楽を仲間と一緒に作りあげたり、心を込めてみんなで歌ったりするなど、音楽の楽しさを感じながら、協働的な学習を進められるような教材やコラムを設けています。

5年生57ページをご覧ください。こちらにも紙面上に二次元コードがあり、読み取ることによってICT機器で閲覧でき、多様な学びに対応できる工夫がされています。

次に、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫について申し上げます。

2年生28ページをご覧ください。身の回りで見つけた音を音楽づくりの学習と関連づける活動を取り入れたり、内容のコラムを設けたりして、子供たちが音や音楽に対してもった興味関心と学習がつながるように工夫がされています。

続きまして、資料についての特色を御説明申し上げます。

3年生23ページをご覧ください。巻末に楽器の紹介や奏法、リコーダーの運指等が写真やイラストで示されているとともに、楽器の奏法が学習ページ内に示され学習をスムーズに進める工夫がされています。

巻頭に学習の概要を「学びの地図」で示して見通しをもたせ、巻末82ページには「ふり返りのページ」を設けて学習の確認ができるような工夫がされています。

3年生25ページをご覧ください。歌ったり楽器を演奏したりする技能の習得をサポートするために、演奏家のアドバイスや指導者のアイデアを掲載しています。

続きまして、表記・表現の特色について御説明申し上げます。

楽譜と縦書きの歌詞が教科書見開きで楽譜等の表記も発達の段階に応じています。

3年生47ページをご覧ください。記号や用語については、巻末や「新しく覚えること」として別枠に示されています。

題材ごとに通し番号がふられ、ツメによって題材のまとまりが示されています。

教材を指導する際の目安となる、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素がページ右下に統一して示されています。

最後に総括です。

歌唱共通教材では、「こころのうた」として配置され、歌詞や曲が生まれた背景を記載し、生活や社会との関わりを捉えやすくするような工夫がされています。また、指導の手立ても掲載されるなどの工夫がされています。

特別支援教育の視点に立ち、色覚特性を持った児童も見やすいよう優しい色調のイラストや、白を基調とするすっきりとしたデザインを採用しています。

	<p>歌詞の内容や写真には、道徳教育や人権教育に対する配慮がされています。</p> <p>以上、教育芸術社 小学生の音楽について御説明申し上げました。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。委員の皆様から御質問をお願いします。</p> <p>特にないようですので、報告ありがとうございました。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議として御意見のある方お願いします。</p> <p>いろいろな公開をいろいろな表現方法で工夫されていると思いました。</p> <p>では、投票用紙への御記入をお願いします。</p>
議長 図画工作部会長	<p>続きまして、「図画工作」に移ります。専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>失礼いたします。小学校・図画工作専門部です。よろしくお願ひいたします。冊子の35ページからご覧ください。</p> <p>図画工作は、「開隆堂出版株式会社」、「日本文教出版」の2社でございます。</p> <p>教育委員会からの通知に基づき、研究調査報告書の上の項目から順に全種目について説明をさせていただきます。</p> <p>説明は目録順とのもので、全種目とも、共通の部分を除き、基本的に開隆堂株式会社、日本文教出版の順で申し上げます。なお、「開隆堂株式会社」については「開隆堂」と、「日本文教出版」については「日文」と、略称を使わせていただきます。</p> <p>それでは、項目ごとの説明に入ります。</p> <p>最初に、採択区の小学校の報告書様式には、項目がなく記述もしていませんが、教育委員会の御指示にありましたので、「学習指導要領の教科の目標との関わり」について申し上げます。当然のことですが、小学校の図画工作の学習は、中学校・高等学校の美術に接続し、生涯にわたって美術を愛好する人間の育成につながっていくものでございます。小学校学習指導要領の図画工作の目標では、児童が「造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」が示されております。この点については、2社とも、生涯学習の視点から鑑賞資料を充実させるとともに、児童の活動の様子、作品、材料を写真で示し、作者の感想とを織り交ぜて、児童の感性を刺激し、つくりだし喜び</p>

を味わいやすく、情操豊かな造形活動が行われるように仕向けるという構成となっております。また、各題材の冒頭（主に見開き2ページの左上となりますが）に、その題材の目標を短文で示し、追って、学習上のヒントや活動に必要な技法をガイドするレイアウトとなっております。

ここで、2社の特徴を申し上げます。

まず、冊子としての構成ですが、「開隆堂」「日文」とも、巻頭にそれぞれ折込みを設けて、大きな鑑賞資料を掲載しています。また、各題材のページをご覧くださいますと、こちらにつきましても「開隆堂」「日文」とも、題材の始まるの部分に、「学習のめあて」として、学習指導要領の目標が掲げる3つの柱を意識した題材を通して育成したい資質・能力が記されています。そして、両者とも、ページの随所に児童が相互に話し合いを進めるよう促すコメントが添えられており、学習指導要領でいうところの「主体的・対話的で深い学び」につながるような配慮がなされています。

次に、報告書様式の項目の1番目、内容について申し上げます。

まず、1つ目、知識及び技能が習得できるようにする工夫について申し上げます。2社とも、題材ごとまたは巻末資料において、絵や立体、工作などの表現活動に必要な用具・材料・技法などの使い方が具体的に示されています。

「開隆堂」は、実際に児童が活動している様子を写真で伝えるものが多く、「日文」は、製作された作品例や扱い方の図版が多いのが特徴です。

続いて思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫です。

この点については、2社とも、各題材、巻末資料に力を入れて情報を充実させ、用具・材料・技法の扱い方を示して、児童が調べながら表現活動が行われるよう工夫されています。

「開隆堂」は、児童が活動している様子を写真や吹き出しで示すことが多く、「日文」は、児童や作家のコメントを多く記載することが多いのが、それぞれの特徴です。いずれも、子供たちの「主体的・対話的で深い学び」へのアプローチを意識したものと言えると思います。

次の学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫に参ります。

「開隆堂」は、共同で取り組む題材を設定し、友人と協力して活動させること、「日文」は、話し合いや交流の仕方などを専用のページで示し、各題材のページと併せて使用することで、人とのつながり・広がりへとつながり、それぞれにコミュニケーションを図っていくための工夫が見られます。

続いて、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を充実させるための工夫です。

○これについては、2社とも、表現の題材の中で児童が相互に鑑賞し合うようにページがレイアウトされ、表現と鑑賞とが表裏一体となっていることを自然に意識できるように工夫がなされています。また、それぞれ、「鑑

賞のみに充てる題材」一単位時間をすべて鑑賞に充てる時間を言いますが、これを学年に応じて設定し、作家の作品を鑑賞して表現活動や自身の生活に生かすよう誘導しています。

内容の最後、用具の安全な取扱について指導するための工夫に参ります。

これについては、2社とも、ほぼ同じ内容で報告しております。両者とも、それぞれの巻末資料を利用して安全な用具の使い方を示すとともに、題材ごとのページに安全上の配慮や片付けのポイントを記した枠囲みを設けています。

続いて、項目の2番目、資料の欄に参ります。

図画工作の場合、作品例等の写真や図版の資料が生命線となりますが、これについても、2社の掲載されている写真・図版の数は多く、かなり充実しております。ページの構成・体裁も同様でしたので、両者とも、ほぼ同じ記述をしてございます。ガイドの仕方、巻末に用具や材料の資料を集めている点において、使いやすさについては同じということが言えると思います。2社それぞれの写真や図版の特徴を考えますと、先程も少し触れましたが、「開隆堂」が改訂前に比べて児童の活動場面の写真が相当数増えているのに対し、「日文」は実際の作品例をかなり多めに紹介しているという両者のコンセプトの特色を感じます。

次に、表記・表現です。

冒頭、学習指導要領との関わりで触れたとおり、2社とも、また、各題材のページの始まりの部分に、「学習のめあて」として、学習指導要領の目標が掲げる3つの柱を意識した題材を通して育成したい資質・能力が記されています。

「開隆堂」は、役目の違う3つのキャラクターが登場し、適宜、児童にアドバイスをしていく形、「日文」は、分類マークを頼りに、児童が学習上のヒントを得ていく形をそれぞれ取っています。どちらも題材の終わりには「振り返り」のポイントが示されています。

それでは、最後、総括に参ります。

まず「開隆堂」ですが、教科書紙面に掲載された「QRコード」を通して、動画等で題材製作の手順やポイント、用具の使い方が分かるような工夫がされています。これにより、タブレット端末を使用した授業の実施や、生徒が家庭で携帯端末から情報を得ることが可能となります。「みんなのギャラリー」というコーナーでは、各地に伝わる伝統工芸や地域の造形を取り上げ、図画工作科で培われる力が地域や身近な社会に関わることが示されていることも特徴として挙げられます。

次に「日文」ですが、「社会に開かれた教育課程」を意識し、保護者や地域とのつながりを表す様子を写真で紹介するなど、学校と児童の日々の生活をつなぐことができるような工夫がされています。「図画工作のつながり ひろがり」というコーナーでは、学んだことを生活や社会に生かして

	<p>つながる事例を紹介し、楽しく豊かな生活を創造する心を育てる工夫がされています。また、他教科・道徳との関連も大切にしている様子がうかがえます。</p> <p>2社の体裁については、「開隆堂」「日文」ともA4判でございます。</p> <p>紙質は、耐水性のある光沢紙を使用しております、手触りもほとんど同じです。</p> <p>以上、2社の特徴について、研究調査した結果をお話させていただきました。どうぞよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。御質問のある委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>今の説明の中に、日文で保護者と地域のつながりを表す様子を写真で紹介しとありましたが、具体的にどんな紹介があったのでしょうか。</p>
図画工作部会長	<p>例えば、小学校1・2年生の下ですけれども、43ページに「いえでもあそべるね」という写真がございますが、このように家庭に持ち帰りまして、家庭で話をするなどを紹介しております。</p>
議長	<p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見のある方はお願いします。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p> <p>ここで10分間の休憩をとりたいと思います。再開は11時5分から家庭となります。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、再開します。「家庭」御報告をお願いします。</p>
家庭部会長	<p>それでは、小学校家庭における研究調査結果を申し上げます。東京書籍と開隆堂の2社がございますので、東京書籍、開隆堂の順で申し上げます。なお、教科書目録に従い、東京書籍は「東書」と省略いたします。</p> <p>まずは、「内容」について御説明いたします。</p> <p>4つの観点から報告いたします。</p> <p>1つ目は、知識及び技能が習得できるようにするための工夫についてでございます。</p> <p>東書は、「いつも確かめよう」の資料に写真で基礎的・基本的な技能を数多く示し、また、Dマークがあるところでは、インターネットに接続して、URLや二次元コードにアクセスすると基礎技能などの動画が見られるようになっており、知識・技能の定着につながる工夫がされています。</p> <p>開隆堂は、用具や実習の手順を写真やイラストを用いて丁寧に分かりやすく説明されており、実際の活動をイメージしやすく、また、題材数が多</p>

く、様々な領域の知識を身に付けることができるよう工夫されています。

2つ目は、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫についてでございます。

東書は、「活動」には「話し合おう」「考えよう」「調べよう」などのサブタイトルがあり、考えたり、実践したりして学習を深めることができるように工夫されています。また、学習内容や学習の仕方を明確にし、主体的な学びの支援に役立つよう工夫されています。

開隆堂は、題材のはじめには必ず学習のめあてが3つのステップで書かれており、問題解決的な学習が展開しやすく、題材の見出しの多くが「～だろう、～してみよう」と問いかける表現になっており、学習内容について考えられるよう工夫されています。また、「考えよう」「話し合おう」などの項目を設け、深い学びにつながるよう工夫されています。

3つ目の学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫についてでございます。

東書は、各題材の導入では、児童に身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、自分なりの課題をもって学習に取り組み、各学年の終わりに学習してわかったことやできるようになったことを「成長の記録」に記録し、自分の成長を振り返ることができるように工夫されています。

開隆堂は、他教科での学習内容と関連している場合、関連する教科名や内容が表記されているため、学習内容を想起したり、さらに調べようとする意欲をもたせるよう工夫されています。また、「家庭科学習の進め方」で、自分の成長や自分と家庭や地域などの他者との関わりの広がりを図示し、学びの深まりや広がりを考えられるように工夫されています。

4つ目は、実践的・体験的な活動の工夫についてでございます。

東書は、「生活を変えるチャンス！」が5か所に設けてあり、家庭で実践しやすく、学校や地域の特色に応じて取り組むことができるようになっています。また、巻末には、学習内容が確認できるよう具体的に示されているので、実践しやすくなっています。

開隆堂は、題材の終わりには、「生活に生かそう」や「チャレンジコーナー」が設けられ、学習内容をこれからの生活に生かすための実践方法が具体的に説明されていて、実践的・体験的な活動の充実が図られています。

次に、「資料」についてご説明いたします。

東書は、実物や変化の過程が写真やイラストで大きく示してあり、また、デジタルコンテンツを見ながら学習できるページがあり、基礎技能などは動画を見ることで、課題を解決するための手掛かりとなるよう工夫されています。また、本文と対応して資料が掲載してあり、課題について考えやすくなっています。

開隆堂は、実習の例示数が多く、主体的に学習する力を高めることができ、また、右上にQRコードが付いており、ポイントを動画で確認したり、

	<p>学習内容をクイズで確かめたりしながら、学校でも家庭でも学習することができるよう工夫されています。</p> <p>次に、「表記・表現」についてご説明いたします。</p> <p>東書は、A4判を用い、実習が見開きで見られるようになっていて活用しやすく、題材ごとに色を統一しており、学習のまとまりがわかりやすく工夫されています。また、安全についての注意・喚起を促す「安全マーク」や食物アレルギーへの配慮、防災教育についても記載されています。</p> <p>開隆堂は、1ページあたりの文字数が適当であり、字体は基本的に明朝体を使用していますが、キーワードをゴシック体の太字で表記しているため、分かりやすくなっています。また、爪見出しが領域ごとに色分けされていて分かりやすく、安全、環境等のマークが載っており、意識する点が分かりやすく、また、食物アレルギーへの配慮も示されています。</p> <p>最後に「総括」いたします。</p> <p>東書は、「見つめよう」など3つのステップで学習の進め方を明示して、明確な目的をもって学習に取り組み、生活をよりよく変えていく力を身に付けるための工夫がされています。また、実践的・体験的な活動を通して、基礎・基本を確実に習得し、作ってみたいという意欲を高め、生活の自立へつながるような工夫がされています。</p> <p>開隆堂は、今までの学習を家庭科に結び付け、自分の成長や自分と他者との関わりを広げることを目的として、各題材の内容が分かりやすく表記されています。また、課題を見つけ、取り組み、実践し、さらに課題を見つけるというサイクルで内容が構成されており、児童の知識・理解のみならず、思考力や判断力、表現力等も高められるよう工夫されています。</p> <p>以上が家庭科の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。委員の皆様から質問がありましたらお願いします。</p> <p>特にないようですので、御報告ありがとうございました。</p> <p>では、ただ今の報告につきまして、協議を行いたいと思います。御意見があればよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>保護者の立場でも書かれていて素晴らしいなと思いました。</p>
議長	<p>それでは、協議を終了し、投票用紙への記入をお願いします。</p>
議長	<p>次に移ります。「保健」につきまして、専門部会長より御報告をお願いします。</p>

体育部会長

体育科 保健についての研究報告をいたします。報告書39ページをご覧ください。

東京書籍「新しい保健」について報告いたします。大きく「内容」と「総括」につきまして、申し上げます。

まず、内容につきまして、5点申し上げます。

1点目、重要な語には、太字のフォントで目立つよう工夫しており、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されております。

2点目は、「深める・伝える」の欄で学習したことを基に考えたり、筋道を立てて説明したりする活動により、思考力・判断力・表現力を育成するための構成となっております。

3点目は、各項のステップ1「気づく・見つける」の後に、「学習の課題」が確認できるようになっており、より学習課題を身近に自分事として捉えるよう工夫されております。

4点目は、イラストや写真、グラフ・新聞記事・写真などを参考にしながら、調べるきっかけを作ったり、まとめたりする学習ができるようになっております。

5点目は、「学習を振り返ろう」で学習したことを振り返らせることで、課題が明確になっております。

総括として、児童が健康や安全に関する学習課題を明示され、児童が自らの生活を振り返りながら、それを解決していくための基礎的・基本的な内容を学ぶことができる工夫がされております。

続きまして、大日本図書「たのしい保健」について報告いたします。

まず、内容につきましては、5点申し上げます。

1点目、学習指導要領に示された学習内容が本文で簡潔にまとめられており、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されております。

2点目は、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」など、1時間の流れを課題解決学習として取り組めるよう構成されております。

3点目は、単元末に、まとめとして学習事項を自己評価することで学習内容を再確認し、実生活に生かすことができる構成となっております。

4点目は、「ミニちしき」コーナーがあり、学習内容に関連した学びを広げる工夫がされております。

5点目は、「もっと知りたい」や「資料 はってん」では、学習した内容をさらに深めていくためのより詳しい説明や学習の方法が示されており、健康な生活を送るための工夫がされております。

総括として、キャラクターを用いて、課題解決のヒントを与えたり、科学的解説や補足説明をしたりして、課題の把握や改善の仕方などを学習できる構成となっております。

続きまして、文教社「わたしたちの保健」について報告いたします。

同様に内容につきましては、5点申し上げます。

1点目、学習指導要領に示された学習内容が、色つきの枠で示されたり、重要な語句が太字で記述されたりと、基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっております。

2点目につきましては、「新しい自分にレベルアップ」にて、知識を活用した学習活動が展開され、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫がされております。

3点目につきましては、学習に関連するホームページアドレスにQRコードや児童への豆知識を脚注に記載することで、主体的な学習に取り組む態度を養う工夫がされております。

4点目につきましては、「情報コーナー」等のコーナーで学習する内容に応じた関連資料を提示し、健康・安全についての理解を深める工夫がされております。

5点目につきましては、各章末の「わたしの〇〇せん言」において、生活を健康的に過ごすための宣言と理由を記入する欄があり、健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫がされております。

総括として、各単元の冒頭に作業や資料提示をし、心身への気づきや身近な行動・環境の中から課題を見つけ、実践的に基礎的・基本的な内容が理解できるよう工夫されております。

続きまして、光文書院「小学保健」について報告いたします。

内容につきましては、5点申し上げます。

1点目、単元の内容を5段階の学習過程にすることにより基礎的・基本的な内容が習得できる構成になっております。

2点目、「学んだことを生かそう 伝えよう」があり、学んだことを自分の言葉で表現したり、他の人に伝えたりする活動によって思考を深める構成になっております。

3点目は、単元冒頭に全て「はじめに」の欄を設け、今までの自分の生活を振り返ったり、資料から考えたことや感じたことを表現させたりして、主体的に取り組む態度の育成を図っております。

4点目は、他学年の保健学習や他教科との関連、「発展」による広がる内容を記載し補足的な説明を加えることで、知識・理解がより一層深まる構成になっております。

5点目は、トップアスリートの話などを取り入れ、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫がされております。

総括として、児童自身の生活行動や、身近な生活環境における課題解決のための資料が多く掲載され、実生活に即した主体的な学習が展開できる

	<p>構成となっております。</p> <p>最後に、学研教育みらい「みんなの保健」について報告いたします。 内容につきまして、5点申し上げます。</p> <p>1点目、学習指導要領に示された内容が本文にまとめられており、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されております。</p> <p>2点目としては、「考える・調べる」「まとめる・深める」において、学習した内容を他者に伝えるなどの活動を取り入れ、生活実践に結びつく力を育てる工夫が見られます。</p> <p>3点目としては、見通しをもって学習できるように、子供たちが疑問を持ちやすい例を示し、学習内容への興味・関心を高めております。</p> <p>4点目としては、児童の実感を伴った理解を促し、生活との結びつきを感じることができるよう実験や体験的な学習活動を取り入れております。</p> <p>5点目としては、章末において、今後の健康的な生活につなげる記述欄が設けられており、実生活に生かそうとする態度が身に付く構成となっております。</p> <p>総括として、学習課題が明確に示され、健康な生活を送るための知識を今後の生活において、習得・活用し、さらに探求、発展させる内容が分かりやすく構成されており工夫が見られます。</p> <p>以上で、体育科 保健についての研究報告を終了いたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、御質問がある方はお願いします。</p>
委員	<p>今日的課題として新たに掲載されているものを教えてください。</p>
体育部会長	<p>ASUKAモデルやがん教育、薬物関係について充実していることが伺えました。</p>
委員	<p>いくつかの教科書で、中学校の学習内容が発展できるとありましたが、中学校に言ったらこういうのをやるんだよとイメージを持たせるためでしょうか。</p>
体育部会長	<p>これが中学校へつながっているというような内容で表記がされておりました。</p>
議長	<p>報告ありがとうございました。</p>
	<p>では、ただ今の報告につきまして、御意見のある方はお願いします。</p>

	<p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>外国語部会長</p>	<p>続きまして、「外国語」に移りたいと思います。それでは専門部会長から御報告をお願いいたします。</p> <p>44ページからご覧ください。はじめに、東京書籍 NEW HORIZON でございます。</p> <p>第1に、内容につきましては、各Unitの冒頭に「Our goal」があり「どんなコミュニケーションができるようになるか」が示され、学習の見通しがもてるようになっております。Unitは新しい英語との出会い「Starting Out」、それに慣れ親しむ「Your Turn」、思いや考えを伝え合う「Enjoy Communication」の3段階で構成されております。各Unitの最後にある「Over the Horizon」では、異文化理解に関するトピックを通じて、言語の背景にある文化に触れることができます。そして年間3回の「Check Your Steps」では伝える力を確かめることができるようになっております。</p> <p>第2に、資料につきましては、「Picture Dictionary」という別冊があります。これを活用し、単語や基本表現を学べるようになっております。</p> <p>第3に、表記・表現につきましては、4線の第2線は点線、第2線と第3線の間は広がっており、文字の形のバランスがとりやすくなっております。以上が、東京書籍でございます。</p> <p>次に、開隆堂のJunior Sunshine でございます。</p> <p>第1に、内容につきましては、巻頭に「CAN-DO」マップがあり、学習の見通しがもてるようになっております。各単元末の振り返りでは「何がで</p>

きるようになったか」、学習の到達点を知ることができます。各Lessonは、初めに英語を音声で知る「Let's Listen」、続いて、繰り返し使って慣れ親しむ「Let's Play」、そのあとの「Let's Try」で児童の身近な題材について伝え合うという構成になっております。また、児童が目的意識をもって活動にチャレンジするための「Project」が年2回設定され、活動量が確保されております。

第2に、資料につきましては、巻末には「発音クリニック」や「この教科書で学んだリスト」が、6年生には「中学校へつなげよう」があり、これらが中学校でつまずきやすい内容を先取りしております。

第3に、表記・表現につきましては、4線の幅は4：5：4の間隔にし、また第3線を太い青色で表示してあり、小文字を丁寧に「読み」「書き」できるようにしてあります。以上が、開隆堂でございます。

次に、学校図書のJUNIOR TOTAL ENGLISH でございます。

第1に、内容につきましては、冒頭に目標が明示されており、「どんなコミュニケーションができるようになるか」がわかります。1つのLessonは2～3のセクションで構成され、セクション毎に習得したい目標表現が明示され、さまざまな場面で「聞く」活動をはじめとしてその表現に何度も触れることができます。そのあと、インプット・インテイクを行う

「Let's Listen Let's Chant」、アウトプットする「Small Talk」、発展的な表現力を伸ばす「Use&Check」と続きます。最後の「Shaggy's Story」では、単元で学習した表現の確認や文字への気付きができるようになっております。各Lessonの最後の「Check Time」で「何ができるようになったか」を振り返ります。

第2に、資料につきましては、巻頭には、5年生は「英語が使われているシーン」、6年生は「英語を使用する仕事」に関する写真資料があり、英語の身近さを感じることができます。

第3に、表記・表現についてでございます。4線には中学校への移行もスムーズな5：6：5のものを使用しております。以上が、学校図書でございます。

次に、三省堂のCROWN Jr. でございます。

第1に、内容につきましては、年間を3つの大単元に分け、それぞれの冒頭でMy Goalが示され、「どんなコミュニケーションができるようになるか」がわかるようになっております。その大単元はさらにHOP、STEP、JUMPの3つに構成されております。HOPでは目指す姿が明示されて、学びの見通しをもつようになり、STEPでは、何度も繰り返し聞く、話すことで英語に触れ、JUMPでは、STEPで触れた語彙や表現を実際の場面で活用し、獲得できるようになっております。また、「Story」の学習では、イラストと聞

こえた単語や文を頼りに話の内容を推測する学びができます。そして「Write&Talk」や「Write&Speak」、「Listen&Write」の3パターンの書く活動が入り、飽きずに楽しく書く活動に取り組めるようになっております。

第2に、資料につきましては、巻頭にある「教室で使う英語」や「会話を続ける工夫」などは、コミュニケーションを図る上でのヒントとして活用できるようになっております。

第3に、表記・表現につきましては、外国の実際のポスターや標識などは、実物と同じ字体で表示し、実生活につながるようにしております。以上が三省堂でございます。

次に、教育出版社のONE WORLD Smiles でございます。

第1に、内容につきましては、冒頭で1年間の目標を示し、児童が自分で目標を設定し、いつでもここに戻って確認できるようになっております。各Lessonの流れは、映像を見て概要を捉え、聞いて慣れ親しむインプット活動から、自分の考えや思いを伝えるアウトプット活動へと段階的に学習が進むように構成されております。Lessonにある「Let's Think」では、気付きや思考を促す問いが設定され、「Final Activity」では、発表ややり取りの活動を行います。また、学校生活に関するテーマや他教科の内容を取り入れた活動や国際理解コーナーが設けられ異文化に触れられる活動もできるようになっております。

第2に、資料につきましては、5年生に世界の挨拶、6年生に世界の子供たちの夢を写真で示してあり、親近感を感じることができるようになっております。

第3に、表記・表現につきましては、書きやすさを高めるため、4線は4：5：4の縦幅となっており、全て実線でございますが、第3線のみ青線となっております。以上が、教育出版でございます。

次に、光村図書のHere We go!でございます。

第1に、内容につきましては、単元のgoalとともに、ゴールからのバックワードデザインによるページごとの目標も示されており、見通しをもちやすくする工夫となっております。各unitは「Hop!」で目標の表現を知り「Step1・2」では聞く活動から話す活動を経て、読む・書く活動へとモデルステップで進み、最後の「Jump!」では、自分の考えや思いを伝え合える4段階の構成となっております。また、「学びをつなげよう」では、他教科の学びを生かしながら学習することができ、「言葉について考えよう」では、言葉に気持ちや心を込める大切さを実感することができるようになっております。「世界の友達」では、世界12か国で暮らす小学生を継続的に取り上げており、様々な英語や世界の文化・価値観に触れることで異

文化理解が深まります。

第2に、資料につきましては、巻頭の「Can-Do」リストにより年間の学習内容が分かるようになっております。また、「学びのパスポート」を作り上げることで自分の成長を振り返ることができます。

第3に、表記・表現につきましては、各unitの紙面が授業の流れに沿ったレイアウトで統一されており、安心して学習に取り組むことができるようになっております。以上が、光村図書でございます。

最後に、啓林館のBlue Sky elementaryでございます。

第1に、内容につきましては、1UnitがPart1のListen and Guessで写真や絵を手掛かりに意味や使い方を推測する活動、Part2のインプット・インテイクの活動、Part3の自分にとって身近な題材を通したアウトプット活動の3つで構成されております。各Unit最後のActivityは、ペアワークやグループワークで行う主体的・対話的なコミュニケーション活動となっております。各Unitにはgoalが、各Partの初めにはめあてが明示され、学習の見通しがもてるようになっております。Looking Backでは自分ができるようになったことを確認できるようになっております。学期末には学習内容を復習しながら自己表現力を高めるREVIEWが用意されております。Did you know?で異文化の話題を取り上げて、国際理解・異文化理解を深められるようになっております。

第2に、資料につきましては、Unitに入る前にはPre Unitがあり、前学年までの復習をしてから該当学年の学習に入れるようになっております。

第3に、表記・表現につきましては、4線は中学校との引継ぎを意識し、5:6:5の縦幅の4線を活用し、第3線を青くすることで視覚的にわかりやすいものとなっております。以上が、啓林館でございます。

以上でございます。

<p>議長</p> <p>委員</p> <p>外国語部会長</p> <p>委員</p> <p>外国語部会長</p> <p>議長</p>	<p>ありがとうございました。委員の皆様から御質問があればお願いします。</p> <p>英語嫌いをつくらないという点ではどういう工夫が目立つでしょうか。</p> <p>言語習得の理論に基づくことから言いますと、全社共通しております、インプット、アウトプットを繰り返してスモールステップで楽しんでいくというスタンスでの習得となっております。</p> <p>歌やゲーム的な遊びの要素で目立つものはございますか。</p> <p>音に対して慣れ親しむという視点からも、歌があったり、チャンツがあったり、ゲームがあったりと発行者ごとに異なりますが、音から入っていくという工夫がなされております。</p> <p>その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、御報告ありがとうございました。協議ということで委員さんから御意見ある方お願いします。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>道徳部会長</p>	<p>続きまして、「道徳」について、専門部会長御報告お願いいたします。</p> <p>失礼いたします。それでは、「特別の教科 道徳」小学校版における研究調査の結果につきまして、御報告いたします。なお、時間の都合上、1社あたり、50秒程度の説明となりますことをお許しください。</p> <p>51ページからご覧ください。</p> <p>はじめに、東京書籍「改訂 新しい道徳」でございます。大きさはA B判で、5学年用は186ページで構成されています。</p> <p>各教材の冒頭には「タイトル」とともに「学習のテーマ」と、考えるポイントを示した「考えながら読もう」が記載してあり、また教材の末尾には教員の発問例としての「考えよう」あるいは「考えるステップ」が掲載されています。</p> <p>各学年には、読み物教材とは異なった「活動型教材」を1編ずつ、新たに収録してあります。また、全学年に人との関わりの中で考える学習活動ページとして「出会う、触れ合う」を2編ずつ掲載しています。</p> <p>2社目は、学校図書「かがやけ みらい」でございます。大きさは、東京書籍と同じA B判で、2冊で構成されています。</p> <p>1冊目の「きづき」は、主に教材を収録したものであり、教材の冒頭は「タイトル」のみを掲載してあります。5学年用は152ページでござい</p>

ます。2冊目の「まなび」は、1教材あたり2ページで構成され、授業の導入や終末等で活用できる教材が用意されております。具体的には「1内容項目」「2主題名」「3問題提起」「4考えよう/やってみよう」と題する教師の発問例と自分の考えを記入する欄、「5各学年10編程度のコラム」などです。5学年用は56ページでございます。特に、「考えよう/やってみよう」では、問題解決的な学習や体験的な学習などを促す構成となっています。

3社目は、教育出版「小学道徳 はばたこう明日へ」でございます。大きさは、前の2社と同じA B判で、5学年用は168ページで構成されています。

各教材の冒頭には「タイトル」とともに「主題名」と「導入で活用できる投げかけ・問題提起」を掲載しており、また教材の末尾には発問例が3つ載せてある「考えよう」と、道徳的实践と結び付けて考えさせるための問い「深めよう」、さらに実際の行動と結び付けて考えさせる問い「やってみよう」、さらには「終末に向けたまとめのことば」などが掲載されています。また、各学年に3つ程度、読み物教材の事前学習として「拡大導入」を設けています。

4社目は、光村図書「きみが いちばん ひかるとき 道徳」でございます。大きさは、前の3社より横が2センチ短い、B5判の変型判で、5学年用は206ページで構成されています。

各教材の冒頭には、「タイトル」とともに、「主題名」「授業導入のヒント」、そしてスマホ等があれば教材の補助資料をみることができる「二次元コード」が記載しており、また、教材の末尾には、めあてと3つの発問で構成された「考えよう・話し合おう」と、日常生活やこれまでの学び、これからの自分などと結び付けるための「つなげよう」が掲載されています。

教材は、全学年において「いじめ問題」や「情報モラル」などをユニットで構成し、しっかりと向き合えるようになっています。

5社目は、日本文教出版「小学道徳 生きる力」でございます。大きさは、A B判で、5学年用は本冊188ページと、ノート44ページの2冊で構成されています。

本冊の教材の冒頭には、「タイトル」とともに「主題名」「導入のための発問例」、そして「条件状況の説明と登場人物の紹介」が掲載されており、また教材の末尾には「ねらいにせまるためのヒントとなる 考えてみよう」と、「振り返りに活用できる みつめよう・生かそう」が掲載されています。

各学年に数点ある見開きページの「学習の手引き」では体験的・問題解決的な指導例を、また「心のベンチ」では教材と関連した内容や活動が紹介されています。

教材は、すべて右ページから見開き単位で収録されています。

6社目は、光文書院「小学道徳 豊かな心」でございます。大きさはA B判より縦に3センチ大きく、A 4判とほぼ同じ大きさです。5学年用は188ページで構成されています。

各教材の冒頭には「タイトル」とともに、「視点」「主題名」「考える視点となる課題」「一部の教材ではありますが、登場人物の紹介」を記載してあります。教材を読み進めると、下の段には本書独自のキャラクターが発問例を問いかけており、教材の末尾には道徳的価値の理解を深めるための「振り返りポイント」や「日常生活に生かすヒント」が示されています。

巻末には授業の記録を書き込むための「学びの足跡」が4ページ分設定されています。

7社目は、学研教育みらい「新・みんなの道徳」でございます。大きさは、A B判より縦に4センチ大きい、A 4判で、5学年用は168ページで構成されています。

各教材の冒頭は、特定の価値を押し付けないことや児童の問題意識である「問い」を大切にするため、「タイトル」のみを提示し、あえて発問例や考える視点等は一切記載されていません。また、教材の末尾には「児童自身が考えを深め、自己を見つめる投げかけとしての 考えよう」のみが示されています。

本教科書の重点テーマは「いのちの教育」であり、「いのち」と「生き方」の面からより深く学べるよう工夫されています。なお、教材はすべて右ページから見開き単位で収録されています。

8社目は、廣済堂あかつき「みんなで考え 話し合う 小学生の道徳」です。大きさはA B判で、5学年用は本冊168ページと、ノート52ページの2冊で構成されています。

本冊の教材の冒頭には、「タイトル」とともに「本時のめあてや問い」を掲載し、また末尾には学習課題と発問が2つから4つで構成されている「考えよう 話し合おう」が示されています。

別冊ノートには、「主題名」「主題に対する大人からのメッセージ」とともに、「主題に対する自分の考え」など、学習の記録を記述させる欄が設けられています。

「善悪の判断」「親切 思いやり」「生命の尊さ」の3つを重点項目と

	<p>して設定し、2時間扱いの教材もあります。</p> <p>以上が、道徳科の研究調査報告となります。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、御質問をお受けいたします。</p>
委員	<p>「考え、議論する道徳」が一つの大きなテーマになっておりますけれども、京書の中に活動型教材が、教出の中ではモラルスキルトレーニングについて書いてありますが、もう少し詳しく教えてください。</p>
道徳部会長	<p>各会社とも学級活動に近い活動が盛り込まれております。つまり、今まで教科書を使って心情を考える教材が多かったわけですが、今回は東書のように実際の生活と結び付けられるような、学活に近い、行動に結び付くような教材も入ってきています。</p>
議長	<p>他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、御報告ありがとうございました。</p> <p>では、協議ということで御意見、また御感想等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>幅広いんだなという感じがしました。いろんなことを学ばなきゃいけないんだと思いました。感想です。</p>
議長	<p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p> <p>以上で、午前の小学校の部を終わりにしたいと思います。ここで昼食休憩といたします。午後の部ですが中学校で、13時ちょうどからということで再開をしてみたいと思います。なお、投票用紙は、各自、委員さんで保管をお願いいたします。</p>

議長

国語部会長

再開します。午後は中学校です。初めに「国語」の説明をお願いします。

これから、中学校国語の研究調査報告を始めます。

それぞれ、法の下、学習指導要領における教科の目標との関わり、内容、資料、表記・表現といった特色について報告いたします。なお、内容については、「基礎的・基本的な知識・技能を習得」「思考力・判断力・表現力等を育成」「主体的に学習に取り組む態度を養う」「言語感覚を豊かにする」「国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる」の5つ観点で説明します。

はじめに、59ページをご覧ください。【東京書籍 新編 新しい国語】です。

本教科書は、本編・基礎編・資料編の3部から成り、基礎編・資料編を用いて、学習の深化や拡充を図らせるようになっています。言語活動を通して指導事項ごとに習得・活用できるよう教材が配置されています。

基礎的・基本的な知識・技能の点では、教材ごとに「てびき」を設定しており、学習の要点を示し、発展的に学習ができるようにしています。「読むこと」に関連した学習や語彙の学習を設定しており、系統立てて学べるように配置されています。

思考力・判断力・表現力等の点では、互いの考えを交流させ、発表や話し合いなど、学んだことを深めていく言語活動を設定しています。

主体的な学習の点では、巻頭に全体の構成や1年間の学ぶ内容を示しており、「読書案内」で関連する本の紹介を掲載しています。

言語活動、国語に対する認識や態度の点では、「てびき」の中の「広がる言葉」と巻末の「言葉を広げよう」で語彙を広げる課題を設けており、各単元の扉で詩・短歌・俳句を紹介しています。「源氏物語」「伊曾保物語」などを取り上げ、古典に興味をもたせるようにしています。「新出漢字一覧」では、複数の用例とともに部首や筆順も示しています。

続きまして、60ページ【学校図書 中学校国語】を説明します。

5つの単元と「言語の学習」で構成されており、「読むこと」では、「読む前に」「読み深める」「まとめ」の3段階の課題を示し、授業後に学習の成果を個人内評価できる観点が示されています。

基礎的・基本的な知識・技能の点では、「読むこと」では「学びの窓」において、授業の流れを明示しています。また、各単元のコラムで「読むこと」を表現活動と関連させるようにしています。

思考力・判断力・表現力の点では、生徒同士が意見を交流させ、習得した知識や技術を活用できるよう発展的な活動を設定しています。また、3年間の系統的・計画的な指導事項に基づき、詩の創作やエッセイを書くなどの言語活動が配列されています。

主体的な学習の点では、教材ごとに学習のねらいと学習活動の流れが示され、見通しをもって学習できるようになっています。脚注に関連する本を紹介しています。

言語活動、国語に対する認識や態度の点では、巻末の「語句・語彙の学習」で多くの言語事項を学習できるようになっています。また、扉や單元ごとに詩の紹介をしています。また、古典文法や古語を掲載することにより古典の読解を助けており、「宇治拾遺物語」や「遠野物語」といった古典への興味や関心をもたせる教材を掲載しています。中1と中2では、小6の漢字も載せており、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられ、色使いやレイアウトに配慮が見られます。

続きまして、61ページ【三省堂 現代の国語】をご覧ください。

教科書は、本編と資料編の2部構成となっており、「読むこと」では、「内容を整理しよう」「考えを深めよう」「学びを広げよう」の3段階の学習課題を示しています。発達段階や学年の特性を考慮し、学習の系統性、領域間の関連を図っています。

基礎的・基本的な知識・技能の点では、習得すべき知識技能、課題の解決方法、思考の要点を図で示したりモデリングしたりすることで可視化しています。また、「学びの道しるべ」で、学びや単元の内容の整理、思考の深化を図っています。

思考力・判断力・表現力等の点では、論理的思考力や説得性のある表現力を身に付けさせるための教材を配置したり、対話的な言語活動の場を設けたりするなど、活用を意識しています。

主体的な学習の点では、教材ごとに学習の目標を示し、生活に生かす手立ても示しています。また、「私の本棚」で関連のある本を紹介しています。

言語活動、国語に対する認識や態度の点では、課題解決の手助けとして学習用語を示し、「即興劇」「対話劇」「句会」などの言語活動を取り上げています。また、資料編で「落語」「歌舞伎」「能・狂言」などを取り上げ古典に興味をもたせています。巻末に「学習用語」をまとめて示し、それぞれの意味を説明しています。

続きまして、62ページ【教育出版 伝え合う言葉 中学国語】です。

本教科書では、「話す・聞く・読む・書く」力の育成を目標に、様々な言語活動を取り入れた教材を設定しています。「読むこと」では問題解決の道筋に沿って学習を進めさせるようにしてあり、思考力・判断力・表現力等を高めさせるために、発展的な学習を設けています。

基礎的・基本的な知識・技能の点では、「学びの重点」を設け、身に付けたい学習内容を示し、表現の仕方や方法を学習させるようにしてありま

す。「読むこと」では、各教材に「みちしるべ」を提示し、学習の進め方や重点をまとめています。

思考力・判断力・表現力等の点では、対話的な学びになるように課題を設定したり、学習の重点を示し、活用を意識した学習を施したりしています。

主体的な学習の点では、各教材に「目標と振り返り」を示しており、身に付けた表現活動を日常に生かせる視点を示し、教材に関連した本を紹介しています。

言語活動、国語に対する認識や態度の点では、巻末に「理解や表現に役立つ言葉」「学習に必要な用語」を掲載し、語句についての学習や单元ごとに季節の言葉や和歌を紹介しています。古典では、「蜘蛛の糸」などを取り上げ現代とのつながりを考えさせる文章を載せています。

63ページ【光村図書 国語】です。

全学年7つの単元と巻末の文法・漢字・資料・付録で構成しています。「読むこと」では、「確認」「深める」「考えをもつ」「言葉を広げる」の4段階で課題を示し、振り返りでは、学びの成果を自己評価させるようになっています。日常生活や社会生活で活用できるような言語活動を系統立てて設定しています。

基礎的・基本的な知識・技能の点では、終末に学習の振り返りとともに「生活に生かす」視点を提示しています。「読むこと」では、段階的に学べるように課題を設定しています。

思考力・判断力・表現力等の点では、生徒同士の交流活動を設定し、コミュニケーションの力を身に付けさせることをねらっています。「読むこと」では、学習の要点や発展的な言語活動を示しています。

主体的な学習の点では、巻頭に学習の見通しを示し「学習のポイント」を一覧表で掲載し、「読むこと」では、脚注に関連する本を紹介しています。

言語活動、国語に対する認識や態度の点では、「発想を広げる言葉」や「感情を表す言葉」「学習用語」などを巻末に示し、单元ごとに暦や季節感ある詩を紹介しています。また、小学校との系統性や既習事項を生かす工夫がされており、古典では、現代とのつながりを想起させ「古典としぐさの伝統芸能」や「古典・近代文学の名作」を掲載し、「郷土ゆかりの作家・作品」を取り上げ、地域との関連性を考えさせたりしています。

以上です。

議長	<p>ありがとうございました。では、委員の皆様から御質問があればお願いします。</p>
委員	<p>伝統的な芸能については、三省堂だけが取り扱っているのでしょうか。</p>
国語部会長	<p>落語、歌舞伎、能、狂言を教材として取りあげているのは三省堂だけだったと思います。</p>
委員	<p>巻末の資料がいろいろありますが、小学校では辞書指導を最初にやるのですが、中学校でもやるのですか。</p>
国語部会長	<p>辞書指導は小学校3、4年生で行うのですが、中学校では行いません。しかし、巻末に筆順等があると非常に助かります。</p>
議長	<p>その他いかがでしょうか。報告ありがとうございました。</p> <p>では、今の報告を受けて、御意見、御感想があればお願いします。よろしいですか。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
議長	<p>続きまして、「書写」に入ります。専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>最初に、64ページの東京書籍について御説明申し上げます。</p> <p>学習指導要領の教科の目標との関わりでは、楷書と行書を選択できる力を養わせるために話し合い活動を取り入れています。</p> <p>内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫として、「書写テストに挑戦」というのがございますが、画数や書き順、行書の特徴等、身に付いているか確認できるようになっています。</p> <p>思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、キャラクターのセリフや「しょしゃのつぼ」によって、自ら考えを深められるように構成されております。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、「生活に広げよう」では、フローチャートを用いて、言葉、書体、筆記具、用紙を選んで書き、生活に生かせるように構成しています。</p> <p>関心を深め尊重する態度を育てるための工夫として、毛筆の学習を通して、硬筆では気付きにくい文字の書き方を身に付け、毛筆と硬筆の関連を図っています。</p> <p>資料では、「しょしゃのたね」や楷書体と行書体を併記した「人名用漢</p>

字表」が掲載されています。

表記・表現では、始筆は「トン」送筆は「スー」終筆は「ピタッ」、右払いの止めを「グッ」と表記し、運筆感覚をとらえるようにしています。

総括として、ABの判型で、毛筆の教材には、ページ端に「書くときのポイント」を示して参照させるようになっています。

次に、65ページの学校図書について御説明申し上げます。

学習指導要領の教科の目標との関わりでは、筆脈を点線や矢印で示し、楷書と行書の違いや調和した仮名の書き方を言葉によって解説し、理解を促しています。

内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫として、毛筆では、基本的な点画について、かご書きとほね書きで示してあります。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、学年の段階を追って章立てられ、学習者にねらいを意識しながら取り組ませるように構成しています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、練習で試し書きと手本を見比べて課題を見つけさせようとしています。

関心を深め尊重する態度を育てるための工夫として、「書写を生かそう」の単元を設け、いろいろな筆記具を用いて職業体験、文化祭など、学校内外の社会に関わる取組を題材に、生活と書写との関連を提示しています。

資料では、「書写の窓」を写真図版と解説を交え、中学校では学習しない発展的な内容も取り上げています。

表記・表現では、毛筆手本の中心を記号で示し、手本と別に中心線やポイントを記号・点線・濃淡・穂先の図で示してあります。

総括として、毛筆の主たる手本を見開き2ページの半紙に近い大きさで示し、活用できるようにしてあります。

次に、66ページの三省堂について御説明申し上げます。

学習指導要領の教科の目標との関わりでは、楷書と行書の違いや場面よっての使い分けを話し合わせ、効果的な使い方を意識させるような活動例を提示しています。

内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫として、毛筆では、筆圧や穂先の動きを濃淡のある朱や黒の墨で示し、硬筆で文字の間隔やバランスを確認させるようにしています。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、「考えよう・話し合おう」「書いて確かめよう」「振り返ろう」という学習過程を柱に、キャラクターによるポイント解説で課題を意識するように構成しています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、①学習の見通しをもつ②学習する③復習する④学習を生かして主体的に書く、という学習の流れ

をとっています。

関心を深め尊重する態度を育てるための工夫として、毛筆で書いた後、「書いて確かめよう」という硬筆教材を設定し、毛筆と硬筆との関連を図っています。

資料では、「楷書・行書一覧表」は常用漢字を小・中学校ごとに示しています。

表記・表現では、文字の整え方の例を示し、話し合うスペースを設けています。

総括としては、「三年間で学んだ書写技能」のページは、中学校の書写学習を振り返らせることができます。

続きまして、67ページの教育出版について御説明申し上げます。

学習指導要領の教科の目標との関わりでは、穂先の写真や点線、筆順を表す数字により、始筆・送筆・終筆の仕方や筆使いがわかるようにしています。

内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫として、毛筆では、注意する筆使いを手本とは別に解説しています。硬筆で試し書きをしてから毛筆で書き方を学ばせ、硬筆でもう一度確認できるようになっています。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、「考えよう」で学習者にねらいを意識しながら取り組ませるように構成しています。

主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、①目標を確かめよう②試し書き③考えよう④生かそう⑤まとめ書き⑥振り返ろう⑦学習や日常生活に生かそう、という学習の流れをとっています。

関心を深め尊重する態度を育てるための工夫として、「学習を生かして書く」の単元を設け、レポート形式、ポスター、案内状などを題材に生活と書写の関連を図っております。

資料では、「漢字一覧表」は、常用漢字を部首別に行書体で示しています。

表記・表現では、仮名の筆順をていねいに示しています。

総括として、「目的に合わせて書こう」で「書く目的」ごとに「どんな力を身に付けるか」を表形式で示しています。

最後に、68ページ光村図書について御説明申し上げます。

学習指導要領の教科の目標との関わりでは、「字形の整え方」「文字の大きさと配列」のポイントとなる事柄を穴埋め形式にして理解を促しています。

内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫として、「なぞり書き」や書き込み式の確認箇所を設け、文字のバランスを身に付けさせ

	<p>るようになっていきます。</p> <p>思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、教科書に文字のポイントを記入したり、手本を見ながら練習したりする欄を設け、考えながら習得させるように構成しています。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、①学習の見通しをもつ②学習活動に取り組む③次の学習に生かす、という学習の流れをとっています。</p> <p>関心を深め尊重する態度を育てるための工夫として、「活用のヒント」では「情報を集めて整理する」「情報を発信する」をテーマに生活と書写の関連を提示しています。</p> <p>資料では、「常用漢字一覧表」と「部首別行書一覧」は、楷書体と行書体を併記しています。</p> <p>表記・表現では、始筆を「トン」送筆を「スー」終筆を「トン」とし、筆圧も数字で示し運筆感覚をとらえる指導に対応しています。</p> <p>総括としては、全体の約半分のページにあたる後半は資料編となっています。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>議長</p> <p>委員</p> <p>議長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、委員の皆様から御質問があればお願いします。</p> <p>ないようですので、御報告ありがとうございました。</p> <p>では、協議といたしまして、御意見、御感想をお願いします。</p> <p>書写も生活に生かすということを感じました。</p> <p>では、書写の投票用紙へ記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>社会部会長</p>	<p>続きまして、「社会」それから「地図」に移ります。専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>失礼します。私からは同じ項目ごとに教科書の目録順に説明をさせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>まず、社会科の地理的分野でございます。資料は69ページから72ページになります。教科書は、「東書」「教出」「帝国」「日文」の4社になります。</p> <p>まず、目標との関わりでございますが、観点が3つあります。</p> <p>1つは我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させるための工夫ということで、69ページの「東書」では写真やグラフ、地図などの資料で本文の記述を補完し、基礎的・基本的な知識や概念を定着さ</p>

せております。「教出」ではページはじめで学習課題を提示し、「ふりかえる」で発展的な課題を提示することで工夫しております。「帝国」では写真やグラフ、地図などの資料で課題に迫り、地理的事象を体系立てて記述しております。「日文」では世界の州ごとにテーマ、日本の地域ごとに視点を明らかにして、課題学習に結びつけて理解させております。

2つ目の観点、地理的な見方や考え方の基礎を培うための工夫として、69ページの「東書」では「地理にアクセス」「調査の達人」というコーナーを設けて、技能を示して育成を図っております。70ページの「教出」では各節のまとめで作業学習を取り入れて、自分の言葉で表現させたりすることで、育成を図ります。71ページの「帝国」では「技能をみがく」「やってみよう」を設け、地理的な見方や考え方の基礎を培い、「確認しよう」「説明しよう」で自ら考察できる力を身に付けられるようにしています。72ページの「日文」では授業時間ごとの課題を解決するために、写真や図版を読み取ったり、資料をまとめたりして、育成を図っております。

3番目の観点、地域的特色や地域の課題をとらえさせるための工夫として、69ページ「東書」ではページはじめで学習課題を提示し、章末に学習確認を行うことで、地域的特色に迫っていきます。「教出」では「地理の窓」や世界・日本の事例をもとに今日的課題に迫る特設ページを設けて、個に応じた学習が進められるようにしています。「帝国」ではページはじめで学習課題を提示し、章末に学習課題を振り返り、「地球を探ろう」で地域的特色に迫っていきます。72ページの「日文」では「地理プラスα」「自由研究」などの具体的事例や補充事例を通して、課題に迫っております。

続きまして内容でございますが、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫として、各社ともページはじめに学習課題を提示し、資料、写真等で基礎・基本の知識・技能を習得させております。地図やグラフの読み取り方など地理的技能を身に付けるために、各コーナーが設置されております。69ページの「東書」では、「地理スキルアップ」、70ページ「教出」では「地理にアプローチ」、「帝国」では「技能を磨く」、「日文」では「スキルUP」という名称になっております。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、各社とも言語表現、言語活動をするように設定されており、自分の言葉で説明等をするすることで、思考力・判断力・表現力等を育成するようになっております。69ページ「東書」では、まとめの「課題」やその章の「学習を振り返ってみんなで考えよう」、「教出」では「ふりかえる」のステップ2や「学習のまとめと表現」、「帝国」では「説明しよう」や「学習をふりかえろう」、「日文」では「言語活動コーナー」や「学習のまとめ」というコーナーが設置

されて、育成を図っております。

続きまして、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各社とも学習意欲を高めるためのコーナーが設置されております。また、さらに深く単元に迫るためのコーナーが設定されております。

学習意欲を高めるコーナーは、「東書」では「えんぴつマーク」、「地理にアクセス」や「ティーブレイク」、「教出」では、「地理の窓」、「帝国」では写真の読み取り方を学ぶことにより、「日文」では「地理プラスα」を設定しています。

発展学習では、「東書」は「深めよう」、「教出」は、「地球から世界を考えよう」、「現代日本の課題を考えよう」、「帝国」は「トライアル地理」や「地域を探ろう」、「日文」は「自由研究」や「地域からのメッセージ」を設定しています。特に「東書」と「教出」は、単元の1時間目の終末に単元を貫く課題が設定されていることで、学習内容と学びの過程を組み立てることができます。「帝国」では「次のページから」を設け、世界や日本の諸地域の学習における視点を明確にしています。「日文」では「連携コーナー」を設け、小学校での学習や歴史・公民と関連付けることで、系統的・横断的に学習を進められるようになっていきます。

次に、地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫でございますが、各社とも各コーナーを設置して、地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫がされています。「東書」は「ためしてみよう」、「学習テーマ」や「追究テーマ」、「教出」は、「見てみよう」や「読み解こう」、「学習課題」、「ふりかえる」のステップ2、「帝国」は「技能をみがく」の「やってみよう」、「共生・環境・防災という共通のコラム」、「日文」では「トライ」や「読み取ろう」、「学習の確認と活用」、「考えよう」を設定しております。

次に、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫では、各社とも冒頭の写真やグラフ等に対する挿絵の人物の問いかけがその地域の生活に対する地理的認識を発見する手掛かりとなっています。また、地域の人物の発言からそこで生活する人々の実態やその土地への対応、思いを感じられるよう工夫されています。

続きまして、資料でございますが、学習効果を高めるための資料の工夫としては、各社とも地域の概要がわかる地図、その地方の地域的特色を表す主題図とグラフ、写真、雨温図が掲載されております。

資料の配置、資料と本文との関係の工夫では、各社とも巻頭・巻末には本文に関係のある写真等が掲載されております。巻末資料には用語解説、世界や日本の統計資料、索引が掲載されています。

続きまして、表記・表現でございますが、4社とも見開きページごとに学習課題を設けております。重要語句は太字で示され、関連する事項には、本文に→P〇〇（矢印ピー〇〇）と書かれ、参照できるようになっております。また、資料には見開きごとのまとまりで通し番号を付けております。「東書」は「分野関連マーク」を設けることで、歴史や公民の学習と結びつけながら系統的に学びを深めることができます。また、標準の取扱い時数が記されており、見通しをもった学習を展開することができるようになっております。「日文」は「鍵マーク」で「学習の確認と活用」の問いかけに答えるときなどに、活用できる重要語句が示されております。左のツメに、インデックスが細かく設けられております。

総括でございますが、地域の取り上げ方につきましては、「世界の諸地域」で取り上げている主題はすべて共通しております。アジアでは、経済成長、ヨーロッパでは国どうしの統合、アフリカではモノカルチャー、北アメリカでは産業、南アメリカでは開発と環境、オセアニアではアジアとの結びつき、続きまして「世界の様々な地域の調査」で取り上げている地域は、「東書」と「帝国」は韓国、「教出」は南アジア、「日文」はロシアを取り上げております。「日本の諸地域」の考察の仕方では、自然環境につきましては「帝国」以外は北海道を取り上げております。「帝国」だけが九州でございます。歴史的背景は「帝国」以外は近畿、「帝国」は北海道、産業については、すべて中部、環境問題や環境保全につきましては、「帝国」以外が九州、「帝国」は近畿、人口や都市・村落については、「帝国」以外は中国・四国、「帝国」は関東、生活・文化につきましては、すべてが九州、他地域との結びつきでは、「帝国」以外は関東、「帝国」が中国・四国となっております。以上が地理的分野でございます。

続きまして、歴史的分野でございます。教科書は、「東書」「教出」「清水」「帝国」「日文」「自由社」「育鵬社」「学び舎」の8社でございます。資料は73ページから80ページになります。

目標との関わりでございますが、基本的にはどの教科書会社も大きく差はございません。我が国の歴史の大きな流れを理解させるための工夫としては、73ページの「東書」では「時代を概観しイメージする導入部」→「通史の学習をする展開部」→「時代の特色をまとめる終結部」という流れになっております。「教出」では、「学習のまとめと表現」に時代の移り変わりを大観する構造図を掲載しております。「清水」では、序章に時代ごとの特色を把握するための課題とその具体的方法（Yチャート）が提示されております。「帝国」では、各時代学習の冒頭に、その時代の一場面を2ページ大のイラストで表現した「タイムトラベル」が設けられております。「日文」では、時代の前半部分には「時代の転換のようす」をと

らえる学習活動が設けられております。「自由社」では、序章の「歴史のとらえ方」で人物や地域に焦点を当てた歴史の学習方法が提示されております。「育鵬社」では、各章冒頭に各時代の歴史の大きな流れをつかむための「歴史絵巻」が設けられております。「学び舎」では、各時代の冒頭に学習課題が設定され、学習のまとめとして時代の転換と特色を振り返る言語表現活動が設けられております。

内容でございますが、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫として、「学び舎」を除く7社は、見開きを1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文で構成され、本文後は「東書」は「確認」、「教出」は「ふりかえる」、「清水」は「まとめてみよう」、「帝国」は「確認しよう」「説明しよう」、「日文」は「学習の確認と活用」、「自由社」は「まとめにチャレンジ」、「育鵬社」は「学習のまとめ」で構成されております。「学び舎」は見開きを1単位時間とし、本文、資料、コラムで構成されております。特に「帝国」は単元の導入部分の「タイムトラベル」において、「小学校で学んだおもなできごと」を掲載し、既習事項との関連を図ることができるようになっております。「日文」は学習課題の下に本時のキーワード（基礎・基本）が明記され、振り返りの際に活用することができるようになっております。また、基礎的・基本的な知識・技能等を身に付けたり、確認するために、「東書」では「歴史スキル・アップ」や「この時代の歴史の学習を確認しよう」、「教出」は「読み解こう」や「学習のまとめと表現」、「清水」は「歴史のとびら」や「まとめてみよう」、「帝国」は「技能をみがく」や「学習をふりかえろう」、「日文」は「スキルUP」や「とらえよう！時代の転換」、「自由社」は「100字用語解説」や「〇〇はどんな時代か」、「育鵬社」は「課題学習」や「学習のまとめ」、「学び舎」は「歴史への案内」「歴史を体験する」や「学習のまとめ」が設けられております。

思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、各社とも歴史的事象を多面的・多角的に考察し、判断するための工夫が見られます。「東書」では「確認」で、「教出」では「ふりかえる」で、「清水」では「もっと知りたい歴史」で、「帝国」では「確認（説明）しよう」で、「日文」は「とらえよう！時代の特色」で、「自由社」は「まとめにチャレンジ」で、「育鵬社」は「歴史学習Q&Aカードをつくろう」や「歴史新聞をつくろう」で、「学び舎」は「歴史を体験する」などで表現力等を育成する工夫が見られます。特に、「清水」では「深めよう」では歴史的事象の考察を促す発展課題が示されております。「帝国」では「トライアル歴史」を設け、意見をまとめ、話し合う活動を通して、学習をさらに深めることができる工夫がされております。

次に、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫としては、各社とも歴史的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習を行える工夫が見られます。「東書」は「私たちの歴史探検隊」で、「教出」は「学習課題」や「歴史の窓」、「〇〇から歴史を探ろう」で、「清水」は「まとめてみよう」で、「帝国」は「歴史を探ろう」で、「日文」は「学習の確認と活用」で、「自由社」は「もっと知りたい」や「人物クローズアップ」で、「育鵬社」は「歴史の名場面」や「人物クローズアップ」、「学習課題」で、「学び舎」は「生徒の興味・関心に応じて学習課題を設定する構成」で主体的に学習に取り組む態度を養う工夫が見られます。特に「自由社」ではミニコラムでユニークな解説を行い、生徒の興味・関心を惹きつける工夫がされております。「育鵬社」では「なでしこ日本史」を取り入れ、各時代で活躍した女性15名を紹介することで、男女共同参画社会の実現に向け、多様な側面から歴史的事象を学習することができるようになっております。「学び舎」では内容別ページ数が最も多く、見開きページの右下には本時のコラムが表示され、歴史の細部を知ることができるようになっております。

続きまして、我が国の歴史に対する理解と愛情を深めさせる工夫では、各社とも国宝や重要文化財、世界遺産等にマーク等が付けられ、古事記や日本書紀等にある神話などが紹介されております。また、領土をめぐる問題についても紹介されております。特に「帝国」では、文化を扱うページにおいて見開き2ページを使用し、多くの写真資料を掲載しております。○育鵬社」では取り上げている日本の歴史上の人物数が一番多いため、発展的な学習を行うことができるようになっております。

続きまして、我が国の歴史の大きな流れを理解させる工夫では、各社とも我が国の歴史を大きくとらえさせるために、各時代の導入として時代の流れを大観させ、時代をイメージさせております。そして、各時代のまとめの学習が設けられています。「教出」では各章末の「時代の変化に注目しよう」では、次に学習する時代との移り変わりを考えられるようになっております。「自由社」では最初と最後に日本の通史を概観するページが設けられております。「学び舎」では各ページには学習課題はまとめが設定されていないため、教師が教科書にとらわれることなく授業を展開することができるようになっております。

続きまして、資料でございますが、各社とも学習効果を高めるために、見開きの上部に学習の動機付けや探究の中心となる導入資料や中心資料が写真などで大きく掲載されています。特に「東書」では女性コラムで、それぞれの時代の女性の姿を紹介しております。「清水」では日本の歴史と

同時に世界の歴史を捉えられるよう「地図で見る世界史」が特設されております。資料の配置、本文との関係は、各社ともページごとにも写真・地図・系図・統計・組織のしくみ等が掲載されております。

続きまして、表記・表現でございますが、「学び舎」を除く7社は、各項目の見出し・資料名・重要語句は太字で表記されております。「学び舎」は各項目の見出しは太字で表記されていますが、本文中に太字の表記はありません。本文は、「東書」・「教出」・「帝国」・「日文」・「育鵬社」・「学び舎」は敬体で、「清水」と「自由社」は常体で書かれております。「東書」では見開きページ左下に、学習している時期が明記されております。「清水」では本文と資料が見分けやすいレイアウトになっております。「日文」では巻末の年表で西暦だけでなく世紀の表記もあるので、年代を大きくとらえることができます。

総括でございますが、「東書」「教出」「帝国」「日文」「育鵬社」は教科書の紙面は、AB版を採用し、「清水」「自由社」はB版を採用し、「学び舎」はA版を採用しております。取り上げている日本の歴史上の人物数は、最少は「清水」の197人、最多は「育鵬社」の351人、我が国の歴史の背景として取り上げている世界の歴史のページ数は、最少は「自由社」の24、最多は「清水」の62ページでございます。

続きまして、公民的分野でございます。教科書は、「東書」「教出」「清水」「帝国」「日文」「自由社」「育鵬社」の7社でございます。資料は81ページから87ページになります。

目標との関わりでございますが、特に各社とも大きな差はございません。

内容につきましては、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫としては、各社とも名称は違いますが、基礎的な知識・技能を習得させる工夫がされております。「東書」では「学習課題」に対してまとめを行う「確認」、他に「公民にチャレンジ」や「効率と公正」、「教出」では「学習課題」に対しまとめを行う「ふりかえる」、他に「言葉で伝え合おう」「読み解こう」、「清水」では資料の読み取りや側注の補助説明、「深める公民」「もっと知りたい公民」、「帝国」では学習課題に対して、「確認しよう」「説明しよう」、他に「トライアル公民」、「日文」では「学習課題」に対して「学習の確認と活用」で知識の習得と活用、他に「情報スキルアップ」、さらに章末に「学習の整理と活用」でを設け、知識・技能の習得、「自由社」では「学習のまとめと発展」で最重要語句の確認、他に「ここがポイント!」、「育鵬社」では学習課題に対し、「学習のまとめ」他に「やってみよう」というコーナーがあります。

次に思考力・判断力・表現力等を育成する工夫としては、各社とも社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断することができるように工夫がされております。

続きまして、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、各社とも社会的事象に対する興味・関心・学習意欲を高め、進んで学習する工夫が見られております。特に、「清水」と「自由社」では課題に対するまとめが設定されていないために、教師自らが柔軟に終末を工夫することができるようになっております。

次に、民主主義に関する理解を深める工夫でございますが、各社とも自由・権利と責任・義務の関係をとり上げ、それを通して個人の尊厳と人権の尊重の意義を認識させるための工夫が見られます。「東書」では「ハンセン病と人権」であるとか、「アイヌ民族と先住民族の権利」について、「教出」では「有害情報の規制か、表現の自由か」や「プロ野球でもストライキ」等の題材で考えさせております。「清水」では「冤罪」について、また、「ハンセン病元患者の長いたたかい」、「部落差別の撤廃をめざして」、「帝国」では「タレントにもプライバシーはあるの？」や「インターネットと人権」、「日文」では「ハンセン病」や「子どもの権利条約」、「自由社」では「権利の平等に関する問題」や「新しい権利」、「日本人拉致問題」、「育鵬社」では「少年法」や「ネット社会とつき合うために」等が記載されております。

次に、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う工夫としては、各社とも知識・能力・態度を一体的なものとして身に付けさせるための工夫が見られます。

基本的には、それぞれ内容的には同じで、表現方法が違っているということでございます。その中で1つ訂正がございます。「清水」と「自由社」の資料に敬体で書かれているとありましたが、本文は常体で示されております。

総括でございますが、「清水」と「自由社」は紙面がB版で、「東書」「教出」「帝国」「日文」「育鵬社」は紙面がAB版になっております。

最後に地図帳でございますが、資料は88ページ、89ページになります。「東書」「帝国」の2社でございます。

内容の中で、特に思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、「東書」では挿絵の人物の台詞が、読図の視点を示しており、資料集めのような使い方もできるようになっています。

	<p>表記・表現では、特に「帝国」が隣接ページを表記することで、各地域とのつながりを意識した学習を展開することができます。日本とのつながりを示した図表が多くあり、世界の諸地域の様子を自分事としてとらえることができるようになったり、見開き3ページの日本全図があり、日本を大観することができたりします。また、「帝国」は地図の色がはっきりしていることや各ページに凡例や陸の高さが表示されていることで生徒への的確な指示が明確となっています。</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、委員の皆様から御質問がありましたらお願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ていねいな御説明の中でいろいろ感じたと思います。それでは、御報告ありがとうございました。</p> <p>では、社会、地理、歴史、公民それから地図帳ですけれども、御意見等ありましたらお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。では、社会科については、地理、歴史、公民、そして地図の投票用紙に御記入をお願いいたします。</p>
議長 数学部会長	<p>それでは次に、「数学」について、部会長より御報告をお願いいたします。</p> <p>それでは、資料の90ページからになります。よろしくをお願いいたします。まず、東京書籍 新編 新しい数学です。</p> <p>教科書の巻頭の「学習の進め方」では、見通しをもって学習が進められるように教科書の使い方などが、また、「数学マイノート」ではノートの記述例が示されています。各節に、基礎・基本が身に付くように「例」「たしかめ」「問」が配列されています。数学のトピックスとして「数学のまど」、社会や職業において数学を活用させる「社会とつながる」などが示され、主体的な学習が展開されるように構成されています。</p> <p>本文中には「まちがい例」が示され、同様の誤答を繰り返さないように説明されています。</p> <p>教科書の体裁では、文節改行や色覚特性に適應したデザインやユニバーサルデザインフォントを取り入れたものとなっています。</p> <p>次に、大日本図書 新版 数学の世界です。</p> <p>巻頭の「ノートのつくり方」では、ノートの書き方の工夫が例示され</p>

ています。学習した内容の定着を図るため、節末の「練習」、章末の「章の問題」、「いろいろな問題」など繰り返し練習するように設定されています。章末には、数学を学ぶことのよさを味わえるように「社会にリンク」が、巻末には、数学を深めることができるように Mathful が示され、主体的な学習が展開されるように構成されています。

スパイラルの学習内容として「思い出そう」で学びを振り返るように構成されています。各Qには補充するための問題として「プラス・ワン」が示されています。

教科書の体裁では、文節改行を取り入れ、色覚などの個人差やユニバーサルデザインに配慮したものとなっています。

学校図書 中学校数学です。

巻頭の「目次」や各領域の「ふりかえり」では、既習事項との関連が示され、基礎・基本の定着を図るため節末の「確かめよう」や「計算力を高めよう」、見方や考え方を活用するため章末の「まとめの問題」が配置されています。日常生活と数学を関連付けるトピックスとして「深めよう」や「クローズアップ」が、巻末には探究的な「さらなる数学」を配置し、主体的な学習が展開されるように構成されています。

巻頭に3つの数学的な考え方を示し、どのような考え方であるか具体例で示されています。

教科書の体裁では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮しています。

続いて、教育出版 中学数学です。

章のはじめには、これから学習する内容に関連する既習事項の「学習する前に」が、章末には学習内容を振り返る「学習のまとめ」が設けられています。節中には、活用するための「チャレンジコーナー」や発展課題の「ジャンプ」、日常生活や社会生活に利用する課題「みんなで数学」、事象を数理的に考察し、表現力を高めるための「伝えよう」、「話し合おう」が配置され、主体的な学習が展開されるように構成されています。

「章の問題」では、**関**、**考**、**技**、**知**などで学習内容の確認ができるようにしています。

教科書の体裁では、文節改行を取り入れ、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいユニバーサルデザインに配慮したものとなっています。

啓林館 未来へひろがる数学です。

巻頭の「学習の進め方」では、学習する手立てやノートの書き方が示されています。また、基礎・基本の定着を図るために章末の「基本のたし

	<p>かめ」や巻末の「繰り返し練習」、「まとめの問題」が設けられています。さらに、章末には、数学を深めるための「数学展望台」や論理的に考えるための「千思万考（せんしばんこう）」、日常生活との関連付けを図るための別冊「MathNavi ブック」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成され、また、各種問題の解答があり、ふり返りや個別学習に利用しやすくなっています。</p> <p>教科書の体裁では、文節改行を取り入れ、色覚の個人差を問わず、より多くの人に必要な情報が伝わるようデザイン、配色としたものとなっています。</p> <p>数研出版 中学校数学です。</p> <p>巻頭では、既習事項を振り返るための「クイックチャージ」が、また、巻末では1年間のまとめの問題として、「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」が設けられています。さらに、章の始めには学び合いにより考えることのできる内容や思考力を深めるために章末の「発展」、日常と関連付けるための「数学探検」が設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されています。</p> <p>スパイラルとして巻頭の「クイックチャージ」で、当該学年までの既習事項がまとめて示され、本文中には振り返るためのマークが用いられています。</p> <p>教科書の体裁では、ユニバーサルデザインの考えに基づいた配慮や色覚を考慮し個人差を問わないデザイン・配色としています。</p> <p>日本文教出版 中学数学です。</p> <p>章のはじめの「次の章を学ぶ前に」では、既習事項の振り返りができるように構成されています。基礎・基本の定着を図るため、章末には「くり返し練習」や「たしかめ」、やや難しい問題である「とりくんでみよう」が設けられています。また、日常生活と関連付けた問題解決の課題としての「生活への利用」や数学を深めるための「数学研究室」などが設けられ、主体的な学習が展開されるよう構成されています。</p> <p>「基本の問題」「章のたしかめ」では、知、技、考により学習した事柄のたしかめができるようにしています。</p> <p>教科書の体裁では、文節改行を取り入れ、ユニバーサルデザインに配慮したものとなっています。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。今の御説明に御質問等ありましたらお願いします。</p> <p>特に御質問はありませんでしょうか。それでは、報告ありがとうございます。</p>

<p>委員</p> <p>議長</p>	<p>ました。</p> <p>それでは、続いて御意見、御感想等あればよろしく申し上げます。</p> <p>どの教科書も数学を利用する立場ということで、環境教育、防災教育など、実生活に結び付く数学の学びということで感心しました。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。数学科です。</p> <p>それでは、ここで休憩に入ります。2時10分再開といたします。</p>
<p>議長</p> <p>理科部会長</p>	<p>それでは、中学校「理科」につきまして、部会長より御報告をお願いします。</p> <p>それでは、97ページからご覧ください。まず、2番 東京書籍です。教科の目標との関わりでは、単元の導入で身近な事物・現象の写真を見開きで掲載し、学習意欲を喚起しています。また、日常生活との関連、科学技術の紹介を通して、科学を学ぶ意義、有用性を高めています。</p> <p>内容では、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、観察・実験の「結果の見方」「考察のポイント」で視点を示しています。また、「レポートの書き方」で書き方の基本を学ばせ、「話す」などで思考や表現する場面を示しています。</p> <p>資料では、「from JAPAN ニッポンの科学」で科学技術を紹介し、興味・関心を高めています。</p> <p>表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年より大きくしています。重要語句や式への太字ゴシック体の使用、グラフの色分けをしています。単元ごとのインデックスの色分けをしています。</p> <p>総括として、指導時期、系統性を踏まえた単元配列、単元末の学習内容の整理、確かめと応用、自由研究、校外施設の活用、科学史年表等の巻末の資料の充実があげられます。</p> <p>次に4番 大日本図書です。</p> <p>教科の目標との関わりでは、課題を明確にし、観察・実験で目的意識をもって主体的に取り組めるようになっていきます。また、日常生活、科学史や職業との関連を通して、科学を学ぶ意義、有用性を高めています。</p> <p>内容では、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫として、巻頭で教科書の使い方を示し、探究の流れを明示しています。また、「もっと」「やってみよう」などの項目で主体的に学習させる工夫をしています。</p> <p>資料では、「プロフェッショナル」で理科と職業との関連を紹介し、興味・関心を高めています。</p>

表記・表現では、重要語句や式への太字ゴシック体の使用、グラフの色分けをしています。単元ごとのインデックスの色分けをしています。

総括として、観察・実験の時期を踏まえた単元配列、終章の活用問題、単元末問題、読解力問題、まとめや巻末資料の充実があげられます。

次に11番 学校図書です。

教科の目標との関わりでは、単元の導入で既習事項を確認し、学習内容の系統性が分かる構成になっています。また、日常生活との関連、職業との関連を通して、科学を学ぶ意義、有用性を高めています。

内容では、科学的な見方や考え方を育成する工夫として、観察・実験で「操作」「結果」「考察」を別々の欄に配置し、結果を受けて考察を導き、見方・考え方を育成しています。図解や装置図を活用し、科学的な概念の定着を図っています。

資料では、「科学を仕事に活かす」で関連した職業を紹介し、興味・関心を高めています。

表記・表現では、重要語句や式への太字ゴシック体の使用、グラフの色分けをしています。単元ごとのインデックスの色分けをしています。

総括として、分野を分けた単元配列、章ごとの学習のまとめ、学習の活用、自由研究、誤差と有効数字、単位記号などの資料の充実があげられます。

次に17番 教育出版です。

教科の目標との関わりでは、単元の導入で身近な事物・現象の写真、章に関わる疑問を提示し、学習意欲を喚起しています。また、実生活との関連や自然環境について取り上げ、科学を学ぶ意義、有用性を高めています。

内容では、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫として、観察・実験で結果・考察の視点を示しています。「わたしのレポート」で基本的なレポートの書き方を学ばせ、「考えよう」「話し合おう」で思考や表現する場面を示しています。

資料では、科学の話題を提供する写真、読み物、日本文化や伝統と関連した話題を掲載し、興味・関心を高めています。

表記・表現では、重要語句や式への太字ゴシック体の使用、グラフの色分けをしています。分野ごとのインデックスの色分けをしています。

総括として、分野を分けた単元配列、単元末の重要語句の整理、基本・応用問題、単位のしくみ、算数・数学との関連、校外施設活用についての資料の充実があげられます。

次に61番 啓林館です。

	<p>教科の目標との関わりでは、導入で学習内容に関連する事象の写真、単元のねらいを示し、学習意欲を喚起しています。学習内容と関連したコラムを紹介し、科学を学ぶ意義、有用性を高めています。</p> <p>内容では、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫として、学習のまとめや別冊マイノートで復習できるようになっています。「実験のスキル」を観察・実験の近くに示し、基礎的な技能を習得できるようになっています。</p> <p>資料では、「はたらく人に聞いてみよう」で実際に働く人々を紹介し、興味・関心を高めています。</p> <p>表記・表現では、第1学年の文字サイズを他学年より大きくしています。重要語句や式への太字ゴシック体の使用、グラフの色分けをしています。領域ごとのインデックスの色分けをしています。</p> <p>総括として、分野を分けた単元配列と別冊マイノートの構成、単元ごとの学習のまとめ、学年末・中学校総合問題、付属の青色シートの用語学習への活用があげられます。</p> <p>以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、御質問をお受けいたします。</p>
委員	<p>主体的に学習に取り組む態度を養う工夫のところ、探求的な学習の流れを示したりと各社共通していると思うのですが、さらに会社によって新たな課題にチャレンジするというような「レッツトライ」とか「チャレンジ」が設けてあったり、あるいはその予想を深めるということで今やっている学習についてのさらに学ぶポイントが示してあったりして、多少会社によって違うということがあってもいいのですか。</p>
理科部会長	<p>表現の方法が会社により違う部分があると思いますが、導入で興味・関心を喚起させる部分や発展につながるための課題の設定など、いずれも各会社の特色が見られております。</p>
委員	<p>啓林館でマイノートという別冊がありますが、こちらの会社だけですか。その他の会社はどうですか。</p>
理科部会長	<p>他の会社でも巻末や単元末の基礎のたしかめや発展問題など、同様のものがあります。</p>
議長	<p>その他いかがですか。御報告ありがとうございました。</p> <p>では、今の御報告に基づきまして、御意見、御感想等ある委員さんはお</p>

	<p>願いたします。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
<p>議長</p> <p>音楽部会長</p>	<p>続きまして、「音楽」、部会長より御説明、御報告をお願いします。</p> <p>それでは、中学校音楽科並びに器楽の教科書の説明をさせていただきます。最初に、中学校音楽、中学音楽「音楽のおくりもの」教出、発行者番号17番、「中学生の音楽」教芸、発行者番号27番について比較をしながら説明をいたします。おもに1年生の教科書を中心に御説明いたします。</p> <p>「音楽のおくりもの」2, 3ページ目次をご覧ください。教育基本法、学校教育法、目標との関わりにつきましては、学習指導要領に基づいた3つの柱を設定しています。対して「中学生の音楽」では2, 3ページの目次に付随して「音楽学習MAP」として、学習指導要領に示された学習内容と各教材との関係や、歌唱・創作・鑑賞といった分野を横断した関連図が示されています。また、〔共通事項〕が学習の窓口としてマークで示されていることが特徴です。</p> <p>次に、内容についての特色でございます。</p> <p>最初に共通歌唱教材について比較してみます。「音楽のおくりもの」20, 21ページ「赤とんぼ」、「中学生の音楽」24, 25ページに「赤とんぼ」共通教材なので同じ教材がございます。「音楽のおくりもの」では、見開き左側に〔共通事項〕を窓口に、音楽を捉えて各教材が示されているという特徴がございます。「中学生の音楽」では、曲名の上に題材の目標が示され、その横に〔共通事項〕がマークで示されています。このマークは「強弱」「旋律」であります。この部分でも各社の特徴がわかります。</p> <p>次に、鑑賞のページで見ていきたいと思えます。</p> <p>「音楽のおくりもの」「中学生の音楽」それぞれ36ページをご覧ください。ここでも同じ位置に〔共通事項〕についての特徴が見られます。また、鑑賞曲のページの特徴として、「音楽のおくりもの」では、ゲーテの詩を最初に配置して文学的な内容を第一にしているのに対し、「中学生の音楽」では、ピアノ伴奏と楽曲の歌詞と楽譜が第1に示され、曲想の変化を重点に置いていることがわかります。他の特徴として、「音楽のおくりもの」では、教師のキャラクターを用いて曲を聴くポイントが示されているのが特徴です。次ページ38, 39ページを開きますと教芸と同じように楽譜が示されています。それに対し、「中学生の音楽」の次ページ38, 39ページでは、注目する部分についてワークシートになっており、教科書に直接書き込める工夫がされています。さらに、39ページ下には、西洋の音楽史の中での位置づけから発展し、同時期の日本の歴史的背景が記載されていることも特徴です。</p>

次に、指揮法について御説明いたします。

「音楽のおくりもの」22ページ、「中学生の音楽」52ページをご覧ください。「音楽のおくりもの」では、4分の4拍子、4分の3拍子、についての記載があり、「中学生の音楽」では2拍子、3拍子、4拍子、弱起の曲の入り方について記載しています。また、「音楽のおくりもの」では譜例を提示し指揮をすることを考えるのに対し、「中学生の音楽」では、「音楽を豊かに表現するために必要なこと」として、具体例をリアルなキャラクターの表情で示しています。

最後になりますが、総括として、「音楽のおくりもの」は豊富な資料で総ページ数が増えており、「中学生の音楽」では、学習のポイントを絞ったつくりになっていることがあげられます。

続きまして、中学校器楽の教科書について御説明いたします。

「音楽のおくりもの」2・3ページ目次、「中学生の器楽」1・2ページをご覧ください。それぞれの楽器に割くページ数により、出版社よっての重点が見えてきます。「音楽のおくりもの」については、ギターの高比重が高く、資料も豊富です。99ページの中折のページ裏面には写真付きで運指が掲載されています。「中学生の音楽」での特徴としては、合奏で使用する打楽器について掲載されていることが特徴です。これはそれぞれ基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫と言えることであります。

次にリコーダーのページを比較します。

「音楽のおくりもの」8ページをご覧ください。新しい指使いをすぐに確認できる工夫がされています。4ページに記載されていますが、8ページ左側に再掲されているのでわざわざ4ページに戻らなくてもいいという工夫がされています。「中学生の音楽」7ページをご覧ください。新しい指使いが示され、次のページをご覧くださいとわかると思いますが、各楽曲で音域を示す工夫がされています。また、Lesson 1、2、3という形で学習を区切ってあることがこちらの教科書の特徴です。

次に、音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫について説明いたします。

「音楽のおくりもの」については、37ページをご覧ください。教材には、〔共通事項〕を踏まえた学習課題（ねらい）が示されており、「音のスケッチ」のコーナーでは、創作活動に取り組めるよう教材が配置されています。各楽器とも時代や曲種等に偏りなく、幅広いジャンルの中から教材を選択し、歌唱共通教材や鑑賞教材の楽曲も掲載されています。様々な楽器及び編成によるアンサンブル教材から、生徒は自分に合った難易度の楽曲を選べるようになっていきます。また、64ページから「Let's play!」74ページから「Let's try!」へと難易度が分けて掲載されているのも特徴です。

	<p>教芸、「中学生の器楽」については、教材に応じて、学習目標、〔共通事項〕を「学習の窓口」としてマークで示し、31ページ「My Melody」のコーナーでは、創作活動に取り組めるよう教材が配置されています。各楽器とも、平易な練習曲から学習が進められるようになっており、様々な楽器及び編成によるアンサンブル教材から、生徒が自分にあった難易度の楽曲を選べるようになっています。</p> <p>以上、中学校音楽科、一般と器楽について御説明させていただきました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、今の御報告に御質問がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>「音楽のおくりもの」の巻末に37種のコードの掲載がございますが、発展的な学習をしたい生徒向けにとらえていいですか。</p>
音楽部会長	<p>コードの数には無限ではありませんが、この教科書に載せられないくらい数があります。より難易度の高い曲に取り組む場合はそれが見れるといいと思います。</p> <p>では、御報告ありがとうございました。協議で御意見や御感想等あればお願いします。</p> <p>では、協議を終了し、投票用紙への記入をお願いします。音楽は一般と器楽です。</p>
議長	<p>続きまして、中学校「美術」、では専門部会長より御報告をお願いします。説明をお願いいたします。</p>
美術部会長	<p>失礼します。美術専門部会です。よろしく願いいたします。資料は106ページからご覧ください。</p> <p>美術は、「開隆堂出版株式会社」、「光村図書出版株式会社」、「日本文教出版」の3社になります。教育委員会からの通知に基づき、研究調査報告書の上の項目から順に全種目について説明させていただきます。</p> <p>説明は目録順とのことです。全種目とも、共通の部分を除き、基本的に「開隆堂」「光村」「日文」の順で申し上げます。</p> <p>それでは、項目ごとの説明に入ります。</p> <p>最初の「学習指導要領の教科の目標との関わり」について申し上げます。</p> <p>中学校・美術の学習は、小学校・図画工作の経験の上に、中学校そして高等学校と、生涯にわたって美術を愛好する人間の育成につなげていくものでございます。中学校学習指導要領の美術の目標では、生徒が「美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊</p>

かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」ことが示されております。

この点については、3社とも、生涯学習の視点から鑑賞資料を充実させるとともに、生徒の活動の様子、作品、材料を写真で示し、作者の感想とを織り交ぜて、生徒の感性を刺激し、つくることの喜びを味わいやすく、情操豊かな創造活動が行われるように仕向けるという構成となっております。また、各題材の冒頭、主に見開き2ページの左上となりますが、そこに、その題材の目標を短文で示し、追って、学習上のヒントや活動に必要な技法をガイドするレイアウトになっております。

ここで、3社の特徴を申し上げます。

まず、冊子としての構成ですが、「開隆堂」「光村」「日文」とも、皆、3箇所それぞれ折込みを設けて、大きな鑑賞資料を掲載しています。また、各題材のページをご覧くださいますと、「開隆堂」は、題材の終わりの部分に「振り返り」として自己評価のための4つの観点が、「光村」は、題材の始まりに「目標」として4つの観点が、そして「日文」は、題材の始まりの部分に「学びのねらい」としての4つの観点が、それぞれ示されています。授業を行う教師は、当然、「開隆堂」であれば授業の終末に、「光村」「日文」であれば、授業の導入でこれらを活用することになると考えられます。

次に、特色の中の1番目、内容について申し上げます。

まず、1つ目、基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫について申し上げます。

3社とも、題材ごと、表現のヒントとなる写真や説明が散りばめられております。そして全社ともにマークを駆使して、生徒に学習のガイドを行う流れになっています。

どの会社も、題材ページのどこかにマークがあり、そのマークを追うと関連する他のページを参照するようガイドされる構造になっています。

続いて思考力・判断力・表現力等を育成する工夫です。

この点については、2社とも、ほとんど変わりなく、各題材で作家もしくは生徒のコメントや解説を添え、ヒントとなる情報を提供して、生徒自らが考え、判断し、表現していく流れを創り出しています。

次の主体的に学習に取り組む態度を養う工夫に参ります。

これについては、先程の「学習指導要領の教科の目標との関わり」でお話しましたとおり、「開隆堂」は、題材の終わりに自己評価としての4観点を、「光村」「日文」は、題材の始めに目標・ねらいとしての4観点を示しております。指導と評価の一体化を考えれば、3社のレイアウト上の特徴の違いと言ってよいと思います。

続いて対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫です。

いずれの会社も、写真、図版、作者や生徒の言葉を掲載してヒントを与

えることで、生徒が発想・構想を膨らませることができるよう工夫されています。

次は創意工夫し美しく表現する技能を高めるための工夫です。

ただいまお話ししたとおり、3社とも、写真、図版、コメント等がふんだんに掲載されており、さらに巻末資料で材料・用具・技法を具体的に理解するよう構成されているため、生徒の創意工夫を促し、自らが調べ、知り、表現に生かしていくという、技能を高める仕掛けが工夫されています。この点については、共通の手法を感じます。

内容の最後、よさや美しさなどを味わわせる工夫に参ります。

3社とも、見開きや原寸大での作品掲載などを駆使して鑑賞のページを充実させており、作品や創造活動のよさ・美しさを味わわせることに力を入れている点において差はございません。ただ、冊子の構成上、「開隆堂」は表現・鑑賞の2領域のページを分けずに構成しているのに対し、「光村」「日文」の2社は、冊子を表現のページ、鑑賞のページを2つに分けているという違いがございます。

続いて、特色の段の2番目、資料の欄に参ります。

美術の場合、作品例等の写真や図版の資料が生命線となりますが、3社とも資料の数は充実しています。

冊子の体裁において、「開隆堂」「光村」はA4判縦、「日文」はA4判縦の横幅を2センチほど長くした変形版を使用しています。3社とも原寸大・見開きの作品提示などにこだわっていますが、「日文」は、面積自体が大きいので、当然、提示する資料も大きくなります。

次に、表記・記述です。

どの会社も、マークを使用して目標やねらい、ふりかえり等が目立つようにレイアウトされています。また、関連した題材や巻末資料へのリンクをガイドしている点も共通した特徴です。

それでは、最後、総括（おさらい）に参ります。

「開隆堂」は、表現と鑑賞の領域のページを区分けせずに授業の中で表現・鑑賞2領域に触れさせるような配列にしています。そして、題材ごとに学習のねらいと観点別の自己評価項目を明示し、授業の指導と評価に活用できるよう構成が工夫されています。

「光村」は、表現と鑑賞、2つの領域のページを分類して示し、題材ごとあるいは題材間を関連付けて指導できるようにしています。そして、題材ごとに具体的な目標を明示し、授業の指導と評価に活用できるよう構成が工夫されています。

「日文」もまた、表現と鑑賞、2つの領域のページを分類して示し、題材ごとあるいは題材間を関連付けて指導できるようにしています。

題材ごと学びのねらいを明示し、指導と評価に活用できるよう工夫されています。

	<p>最後に、ご覧のとおり冊子の数ですが、「開隆堂」「光村」は、1年及び2・3年の2冊、「日文」は1年と2・3年上下の3冊がセットとなっております。</p> <p>以上、3社の特徴について、結果をお話させていただきました。よろしくお願ひ申し上げます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。委員の皆さんから御質問をお受けいたします。</p> <p>ございませんでしょうか。御報告ありがとうございました。</p> <p>では、今の報告に基づいて、御意見、御感想等あればよろしくお願ひします。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p>
議長 保健体育部会長	<p>続きまして、「保健体育」に移ります。専門部会長より御報告お願ひいたします。</p> <p>中学校保健体育の研究調査結果を報告いたします。109ページからご覧ください。教科書は、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」「学研」の4社です。それぞれ、法の下、学習指導要領における教科の目標との関わり、内容、資料、表記・表現、総括の特色について報告いたします。なお、内容につきましては、「基礎的・基本的な知識を習得する工夫」「思考力・判断力・表現力等を育成する工夫」「主体的に学習に取り組む態度を養う工夫」「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫」「健康の保持増進のための実践力を育成する工夫」の5つ観点で説明いたします。</p> <p>はじめに「東京書籍 新編新しい保健体育」です。</p> <p>本教科書は、基礎的・基本的な知識の習得のために、「今日の学習」で学習の目標を明確にして進めるようになっていきます。また、小・中・高等学校の系統性も示しています。</p> <p>思考力・判断力等を育成するために、「考えてみよう」の項目を示し、活動を通して、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっていきます。</p> <p>「基礎的・基本的な知識の点」では、特徴として1単位時間の学習を見開き2ページを基本として、学びやすくしています。「キーワード」について解説が設けられたり、章末に「確認問題」が設けられたりして、基礎的・基本的な内容の定着を図るようになっていきます。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等の点」では、章末に「活用の問題」を設定</p>

し、習得した知識を活用して考えたり調べたりすることができるようになっていきます。

「主体的に学習に取り組む態度の点」では、他教科や他のページとのつながりも示されています。主体的に学習に取り組むためのクイズや「やってみよう」「読み物」も設けています。

「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の点」では、技術・戦術・作戦についてイラストや吹き出しを使って説明し、理解が深まるよう工夫されています。

「健康の保持増進のための実践力の点」では、応急手当では、イラストや写真、フローチャートの掲載が、犯罪被害の防止では、場所別犯罪発生件数をグラフで、イラストを使って危険予測・危険回避について考えさせるなど、実践力を育成する工夫が見られます。

資料・表記・表現としては、適切な学習方法を選択できるよう「保健体育の学習方法」が示されています。また、学習に関連のある情報やホームページも紹介しています。他にも他のページとの関連を示す「リンク」も設けられています。

総括として、大きな特徴といたしまして1単位時間の学習を見開き2ページを基本としていますが、B5版の変形型なので生徒が持ち物として整理しづらいのではないかと懸念もあります。

次に「大日本図書 新版中学校保健体育」です。

本教科書は、基礎的・基本的な知識の習得のために、「今日の学習課題」で学習の目標を明確にし、本文に即した資料を使って学習活動を進めるようになっています。また、思考力・判断力などを育成するために、「学習を活かして」の項目を提示し、実生活において活用するための具体的な課題を示し、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっています。

「基礎的・基本的な知識の点」では、学習を始める構成が「今日の学習課題」、「考えよう」に沿う流れで、各章末に学習の要点を示し、振り返り学習ができるようになっています。

「思考力・判断力・表現力等の点」では、各時間の末に「学習を活かして」があり、習得した知識を活用できるよう課題が示され、意見を述べたり、まとめたり、記述したりする課題を取り入れています。

「主体的に学習に取り組む態度の点」では、学習内容を深化させることができるよう「ミニ知識」や「キーワード」の提示があったり、「トピックス」や「リンク」、「トピックス+ (プラス)」など設けられています。

「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の点」では、技術・戦術・作戦についてイラストや写真で説明し、理解が深まるよう工夫されています。

「健康の保持増進のための実践力の点」では、応急手当をイラストで示

し、実習を通して理解ができるようになっていきます。

資料・表記・表現としては、見開きの写真を掲載するなど、写真資料を豊富に掲載しています。また、有名スポーツ選手の写真を多く掲載しています。さらに、欄外に関連するホームページを紹介しています。

総括として、B5版の変形型なので生徒が持ち物として整理しづらいのではないかという懸念もあります。また、1単位時間の学習を見開き2ページを基本として構成し、資料や発展的な学習内容のページが多く設けられているといった特徴があります。

続きまして、「大修館書店 保健体育」です。

本教科書は、基礎的・基本的な知識習得のために、「Question」で問いかけをし、学習への動機づけや、学習の内容の明確化を図っています。また、科学的な説明を重視しています。思考力・判断力などを育成するために、「Try」の項目を提示し、学んだことを実際の場面に当てはめさせ、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっていきます。

「基礎的・基本的な知識の点」では、章末に「学んだことを振り返ってみよう」、「学びを生かそう」、「学びを広げよう」により、知識の確認ができるようになっていきます。

「思考力・判断力・表現力等の点」では、各学習の最後に、「Try」が設けられており、習得した知識を活用できるようにしていたり、習得した知識で、自分の問題として考えさせる「Challenge」や「活用」が設置されていたりします。

「主体的に学習に取り組む態度の点」では、学習内容と関連する「コラム」や「事例」が掲載され、関連した情報を「URL」から調べられるようになっていきます。

「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の点」では、運動の技術について連続写真を使って説明するなど、視覚的にとらえる工夫がされています。

「健康の保持増進のための実践力の点」では、防犯の取組を写真で示したり、コミュニティサイトでの危険回避方法について考えさせたりするなどの工夫がされています。

資料・表記・表現としましては、近年の問題を「コラム」や「事例」で取り上げていることや、欄外に学習に関連のあるホームページを紹介していること、図表の出典が一覧となって整理されていることがあります。

総括としまして、明度の低い色合いが大きな特徴としてあります。科学的な資料が多く示されているといったところも特徴的です。

最後に「学研 新中学保健体育」です。

本教科書は、基礎的・基本的な知識の習得のために、学習の目標を示し

	<p>て本文に即した資料を使い学習活動を進めるようになっていきます。また、学習内容が小・中・高等学校の系統性を重視しています。また、「活用しよう」の項目を提示し、習得した知識を活用する課題や、資料を読み解く課題、実験・実習・作業課題、これらを組み合わせた課題などを設け、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっていきます。</p> <p>「基礎的・基本的な知識の点」では、特徴として各章の最後に「用語の確認」「基礎の完成」ができるようにしてあります。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等の点」では、各章の終末に知識を活用する課題があり思考力・判断力・表現力の育成に役立ち、多くのコラムが読解力の育成に役立つようになっていきます。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度の点」では、「課題をつかむ」で見通しをもたせ、レイアウトが見やすく、自学自習しやすいと思われます。</p> <p>「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の点」では、スポーツの学び方で、戦術・作戦についてイラストや写真を使って説明し、視覚的な工夫があります。</p> <p>「健康の保持増進のための実践力の点」では、応急手当で、図や写真、フローチャートを掲載しています。</p> <p>「内容のまとまりごとの特徴」として、中学生の興味・関心に合わせた資料や、日常生活との関連をおさえています。また、各章末に日常生活に関連づける課題があります。</p> <p>資料・表記・表現としましては、本文に関連深い新しい資料の掲載、理解を深める写真の豊富さ、中学生に親しみやすいタッチのイラストで興味を引くことができます。</p> <p>総括として、学習内容が整理された配置で、系統的な学習ができるようになっていきます。</p> <p>以上4社の教科書について報告をさせていただきました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、御質問のある方お願いします。</p> <p>特にございませんでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>では、協議ということで、報告に御意見、御感想等があればよろしくお願いします。</p> <p>では、投票用紙への記入をお願いします。</p> <p>それでは、休憩に入りますが、再開は午後3時です。技術・家庭からスタートいたします。</p>
議長	<p>それでは再開いたします。続きまして、「技術・家庭」について、専門部会長より御報告をお願いいたします。</p>

技術・家庭部会長

中学校技術・家庭科の研究調査結果を報告いたします。資料の113ページからご覧ください。3社ございますので、各社とも技術分野・家庭分野の順で報告いたします。

まずは、「東京書籍」技術分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、基礎的・基本的な知識・技術を確実に身に付くように構成され、見通しをもって学習活動が行えるようになっています。また、実生活と技術を関連づけて理解が深められるよう、現代における最新の技術だけでなく、今に生きる伝統技術も取り上げた資料の提示がされており、技術を生かし生活をより創意工夫していこうとする態度を育てることができるようになっています。

「内容の特色」は、学習の「目標」「基礎技能」「ポイント」の見出しがあり、実習の要点が確認しやすくなっています。「安全」「衛生」では基礎的・基本的な工具や作業時の安全・適切な運用が掲載され、危険を予測し安全に技能を習得できるようになっています。

「資料の特色」は、解説や作業があるときには近くに写真、図、イラストが掲載されているため、「読む」「見る」両方で学習することができるようになっています。また、様々なマークを用いて学習のポイントや安全に作業をすること、評価活用する項目等に分けられているため、何を学習するのかが明確になっています。

「表記・表現の特色」は、各題材で同じ形式、同じ流れで構成されており、分野ごとに色分けされているので混同せずに学習を進めることができるようになっています。また、資料には身近な生活の中にある技術が伝わるような写真が多く掲載されています。

「総括」として、単元の最後に活用評価の内容が豊富に構成され、作業実習に関わる内容には写真、イラストがあり作業をイメージしやすくなっています。また、安全、衛生マークもあり作業の安全に配慮がなされており、実生活に技術の必要性が感じられる内容も多く掲載されています。

「東京書籍」家庭分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、編の最後に『学習のまとめ』のページを設定し、「学習を振り返ろう」の項目で学んだことを確認できるようになっています。また、学んだ知識や技術を生活に生かすために、家庭分野の学習のまとめに「学んだことを発表しよう」、「学んだことを生活に生かす」という項目を設定し、思考力や判断力、表現力、実践力が高められるようになっています。

「内容の特色」は、各単元に「やってみよう」「調べてみよう」「生活

に生かそう」という項目を設け、主体的に学習に取り組むことができるようになっています。また、各単元に「考えてみよう」という項目を設け、自分で考え、表現しやすくなるようになっています。

「資料の特色」は、食品の概量や幼児の体の発達の単元で、食品や幼児の靴を実物大で提示しています。また、食生活や衣生活において、「伝統・文化」についてのページは写真を多用し、生徒が理解しやすいようになっています。

「表記・表現の特色」は、各編にタイトルを色分けし、爪見出しで編と章を囲んで学習内容がわかりやすいように工夫してあります。「消費者」「伝統・文化」「防災」等のマークを設定し、分かりやすくする工夫をしています。

「総括」として、単元ごとに始めに「目標」を設定し、「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「生活に生かそう」等の項目を利用して、主体的な学習につなげるようにしています。また、他教科との関連もマークで分かるようになっています。特に教科書が大判のため紙面に余裕があり、資料の配置等にも工夫があります。

「教育図書」技術分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、「学びたい」「作りたい」と思うような製作題材を多く取り入れることにより、生徒の興味・関心に応じた製作題材を取り上げ、学習活動ができる構成になっています。

生徒が実際に体を動かしたり、話し合ったり、考えたりしながら、生活と技術のとの関わりについての学習に取り組めるようになっています。

「内容の特色」は、製作題材を取り上げ、学習のまとめりに「学習の目標」「まとめ」「章末問題」を設けて実践的な活動を通して学ぶようになっています。大きな写真や「基礎技能・知識」マークを用いて、基本となる技術の習得や機器の安全な利用方法を学びながら学習を進められるようになっています。さらに、生徒が主体的に学習を進められるように「調べよう」「やってみよう」「考えよう」という欄を、順を追って設け、学習を深めるための「発展」という欄も設けています。

「資料の特色」は、口絵のように大きなイラストから、各領域内での小さな写真・図版まで、中学生が読み取りやすいように工夫されています。また、「資料」「コラム」欄を設け、興味をもって学習を深め、自ら課題を見出すことができるように工夫されています。

「表記・表現の特色」は、適度な余白を取り入れ、デザインを意識したページを取り入れるなど、より分かりやすくなるように工夫されています。書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一され、重要語句は太文字で表記されています。

「総括」として、学習内容ごとに、しくみや構造など詳しく解説されて

いるイラストが多く掲載され、学習のポイントごとに、製作の例が示され、工具などをより安全にかつ正確に使用できるように、「コツ」や「注意」のマークで深く知らせるようになっていきます。また、指導内容の最後に「各学習内容の身に付けたい内容」や「章末問題」などを「まとめ」として示し、振り返る学習を重視しています。

「教育図書」家庭分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、写真やイラストをたくさん掲載してわかりやすくするための工夫をしています。また、学んだ知識や技能を生活に生かすために、内容ごとに「生活の課題と実践」を設定し、具体例は写真等を用いて示し、個人やグループで実践するようになっていきます。

「内容の特色」は、各項目にキーワード・チェック欄があり、重要な語句の理解を確認できるようになっています。各内容の終わりには「学習のふり返し」があり、基本的な内容の定着を確かめることができます。また、生徒に身に付けさせたい表現力やコミュニケーション能力を高めるために、グループでの話し合いやロールプレイング、体験学習などの実習が盛り込んであります。さらに「まとめよう」「考えよう」「話し合おう」等の学習活動を各所に設定しています。

「資料の特色」は、実習に関わる安全について、「安全マーク」を付したり、本文を太字にしたりして、注意を促しています。また、防災に関する資料も掲載してあります。さらに、職業の人からのメッセージをコラムとして掲載しキャリア教育と関連させています。

「表記・表現の特色」は、爪見出しを各内容と章別に色分けし、学習内容を短い言葉で示しています。また、題材名や資料部分は、ゴシック体、本文は明朝体、重要な語句は、太字で強調されています。それと調理実習の材料を6つの基礎食品群に分類し、分類した食品群をサイコロの目で表しています。

「総括」として、最初にガイダンス、続いて、A「家族」B「食生活」C「衣生活・住生活」D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れています。また、「生活の課題と実践」は内容ごとの最後に掲載されています。それと「キーワード・チェック」や「学習のふり返し」により自分で学習できるように構成され、生徒が興味関心をもてるように、イラストを多く用いた内容となっています。

「開隆堂」技術分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を豊富に設定しています。

生活と技術との関わりについて理解を深めさせるために、生活上生じる課題を示し自分なりに課題を発見し、工夫・創造して課題を解決することができるようになっていきます。

「内容の特色」は、学習のまとまりごとに「学習の目標」「学習の振り返り」を設けて、学習の目標を明確にし、学習したことを振り返りながら学ぶようになっていきます。関係のある学習内容のページを「リンク」マークで示し、学習のつながりを踏まえる工夫がされています。実習例が示され、生徒が見通しを立てて問題解決的な学習を進められるようになっていきます。「探究」「豆知識」という欄を設け、生徒が興味・関心をもち、問題解決的な学習を進められるようになっていきます。

「資料の特色」は、基礎・基本となる内容について、豊富な写真と挿絵を用いて的確に説明しています。本文も学習のポイントを押さえた簡潔で分かりやすい文章表現となっています。安全・環境・リンクなど様々なマークを用いることで、安全や環境に対する配慮や他の学習内容や家庭分野との関連などが一目で分かるように工夫されています。

「表記・表現の特色」は、内容ごとに色分けし、上部の爪見出しでその場所がわかるようになっていきます。その内容に関する写真やイラストを配置して学習の流れや違いがわかるようになっていきます。書体は、ユニバーサルデザインフォントで統一され、重要語句は太文字で表記されています。

「総括」として、学習内容ごとに、「学習の目標」から「ふり返し」までがひとまとまりとして構成され、指導内容の最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」「探究活動」などを「学習のまとめ」と学習の流れを示し、生徒が見通しを立て、振り返れる学習活動を重視しています。

「開隆堂」家庭分野です。

「学習指導要領の教科の目標との関わり」では、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るために、項目ごとに始めに「学習の目標」を設定し、さらに単元の最後に「ふり返し」を設定することによって、学習前後に確認ができるようになっていきます。学んだ知識や技術を生活に生かすために、各領域の最後の「学習のまとめ」に【生活に生かそう】の項目を設定することによって思考力、判断力、実践力が育成されるようになっていきます。

「内容の特色」は、「学習の目標」に対し、「ふり返し」または「学習のまとめ」で自己評価をすることで、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されています。また、基本的な食材の切り方や縫い方を写真で示し、技能の定着が図れるよう工夫されています。

「資料の特色」は、各領域に「発展」や「探究」の項目を設定し、発展的に自分の生活に生かす方法を考えられるように工夫されています。また、全ての領域の終末部分に「持続可能な社会をつくる」視点からまとめられた参考資料が掲載されており、環境問題に関心をもてるように工夫されて

	<p>います。</p> <p>「表記・表現の特色」は、領域ごとに色分けし、分かりやすく工夫しており、各ページの右上に領域の内容に応じた食べ物や家具、帽子、環境に関する各国のマーク等の写真が、下部には「豆知識」が掲載され、ちょっとした豆知識が得られるようになっています。</p> <p>「総括」として、最初にガイダンス。続いて、A「家族」 B「食生活」 C「衣生活・住生活」 D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れています。また、「生活の課題と実践」は巻末に記載されています。全ての領域の終末部分に「持続可能な社会をつくる」という内容が構成されており、世代を超えた人びとの交流や環境問題に向けて、学習を進めていくということが打ち出されています。</p> <p>以上、技術・家庭の研究調査結果報告を終わります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは、御質問がある委員さんお願いします。</p> <p>ございませんでしょうか。それでは、御報告ありがとうございました。</p> <p>では、引き続き協議を行いたいと思います。御意見、御感想等あればよろしくお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。では、投票用紙の記入をお願いします。</p>
議長 外国語部会長	<p>次に「外国語」につきまして、専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>失礼いたします。よろしく願いいたします。中学校の外国語部会では6社教科書会社がございますが、6社の中でそれぞれお話し申し上げます。特色のところですべてを細かく申し上げると、時間が足りないと思いますので、どの教科書会社さんも力を入れていらっしゃるんじゃないかと思われるところ、新しい学習指導要領の部分で大事な部分と考えられるところとして、思考力・判断力・表現力等を育成する工夫について、この部分で特色の部分を、総括について申し上げたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>119ページをご覧ください。NEW HORIZON 東京書籍さんでございます。</p> <p>思考力関係ですが、Unit の Read and Think では、新出文法事項はなく、ストーリーに集中させ、その内容に関する Q&A や意見を求められる活動が設定されています。また、Presentation のセクションでは、表現力を高める活動になっています。東京書籍さんの思考力・判断力・表現力を高める工夫がここに表れていると思います。</p>

総括といたしまして、各 Unit の中で、それぞれのページの役割が決まっており、スムーズな学習の流れがあります。知識・技能も大事にしつつ、思考力・判断力・表現力に意識が重く置かれた構成になっていると思われる。

次に、SUNSHINE 開隆堂さんでございます。

思考力、判断力でございますが、Program の最後に POWER UP セクションが設定され、表現力を高める活動になっています。また、My Project が適宜設定され、POWER UP より高い表現力をつける活動が設定されています。どちらも理解から表現への繋がりになっています。これが特色になっているかと思えます。

総括といたしましては、本文の右下に音読回数をチェックするようになっておりまして、自主的に子供たちが取り組める工夫がされております。英語の仕組みでは、文法事項を整理し、振り返りやすくなっているかと思えます。

全体的にバランスよく設定されております。以上です。

続きまして、TOTAL 学校図書さんでございます。

思考力・判断力・表現力等につきましては、2つの Lesson が1つの Chapter になっており、その Chapter の最後に Project として表現に関するセクションが設定されています。Project の構成もモデルとなる文章の Listening や Reading から入り、段階を踏んで表現に広がっていくという形をとっておりまして、思考力・判断力・表現力が身に付くシステムを作られていると思えます。

総括的には、見開き1ページで、左側に本文、右側に新出文法事項の説明、それを活用した Listening、Speaking、Writing になっております。Speaking、Writing、ともにパターンプラクティスとなっているので、繰り返し学習になっています。

他の教科書と比べますと、Be 動詞ではなく、一般動詞から学習に入るといったのが大きな違いだと思います。

続きまして、NEW CROWN 三省堂さんでございます。

思考力・判断力・表現力等につきましては、Lesson ごとに、GET の Point で基本文法についてまず学習させた後、その内容を Listen、Speak、Write で平易な文脈の中で練習をさせ、USE / Read(Speak、Write)を通して基礎的な表現力を身に付けさせる構成になっています。

総括といたしまして、各 Lesson は、学習の見通しを立てる「とびら」、基礎・基本を習得するための GET、習得したものを活用する USE、身に付けたことを確認する「まとめ」から成り、4技能を総合的に育成する構

成となっています。

次に、ONE WORLD 教育出版さんでございます。

思考力・判断力・表現力につきましては、Jump の Project では、4 技能を活用し、自分の考えや意見を述べるように設定がされております。

Time for a Skit では日常生活の表現を練習させるようになっています。

総括といたしましては、各学年を 3 つの Unit で構成し、1 つの Unit に 3 ～ 4 つの Lesson があります。各 Lesson はそれぞれ Hop、Step、Jump の 3 段階から成り立っておりまして、Hop では主に「聞く」「話す」「書く」活動を行わせ、Step では主に「読む」活動を行わせるようになっています。

それぞれの Lesson を 3 段階で構成し、言語材料の定着が図れると同時に、学習を振り返り、発展的な活動ができるような構成になっております。また、まとめのページとして Project を設定し、言語活動や課題を提示し、そこまでに学習したことを統合的に活用できるように工夫されております。

最後になりますが、COLUMBUS 光村出版さんです。

思考力・判断力・表現力の工夫の点ですが、Unit の Part ごとに「基本文」で基本的な文法についてまず学習させ、Listen、Speak、Write で平易な表現を練習します。まとめとして You Can Do It! で基本的な表現力を身に付けさせる構成になっています。本文の内容に関する質問や穴埋め問題、また内容について意見や感想を述べさせる活動として Read & Think があります。Go for It! では、4 技能を統合的に活用させながら自分のことについて考えさせています。

総括といたしましては、各 Unit は、本文、Try It! You Can Do It! から成り立ちまして、基礎力をまず定着させ、4 技能を総合的に伸ばす構成になっております。また、Go for It! では、4 技能を統合的に使って考えさせ、自分の意見を表現させるようになっています。「知識・技能」と「思考・判断・表現」のバランスのとれた設定がされていると考えます。また、本文は、1 年から 3 年までがつながった 1 つの物語になっており、登場人物の成長を通して、実践的な英語が学べるように構成されております。

以上でございます。

議長	<p>ありがとうございました。それでは、御質問のある委員の皆さん、お願いします。</p> <p>特にないようです。ありがとうございました。</p> <p>それでは、協議ということで御意見、御感想等があればよろしく申し上げます。いかがでしょうか。</p> <p>では、投票用紙の記入をお願いします。</p>
議長 特別支援部会長	<p>それでは、最後ですね。「特別支援」につきまして、専門部会長より御報告をお願いします。</p> <p>小中学校特別支援教育の教科用図書の研究結果について、御報告を申し上げます。</p> <p>125ページをご覧ください。教科ごとに御説明いたします。はじめに「こくご」です。</p> <p>学習指導要領目標との関わりでは、「日常生活に必要な国語の理解」のために、生活単元学習や日常生活の指導等、教科の枠を超え、様々な場面に繋がる教材が扱われていることがわかりました。また、「話す・聞く」「読む」「書く」の学習を段階的にゆっくりと進められるよう構成されており、社会生活において必要とする力をより伸ばすことができるようになっていると考えられます。</p> <p>「伝え合う力を養う、それらを表現、活用する能力と態度を育てる」という点では、日常生活の場が想定されており、学習意欲を喚起するものになっていました。</p> <p>内容の特色としましては、「話す・聞く」「読む」「書く」それぞれの基礎的・基本的な技能を習得するため様々な工夫がされているということがあげられます。書くことにおいては、☆☆、☆☆☆で、書きやすく、また真似しやすいようなイラストとの工夫がありました。また、☆から☆☆☆まで系統性が意識されたつくりになっております。特に☆☆☆☆では、「活用」が意識され、社会生活で必要な力を身に付けさせたいという思いが現れている構成となっていると考えられます。また、主体的に学習が進められるよう、説明の言葉が簡潔でイラストも多く分かりやすいため、児童・生徒は見通しを立てやすくなっていると思われまます。さらに児童同士、児童や教師との会話や伝え合いを促す内容が多く取り入れられていることから「伝え合う力」に重点が置かれていると感じました。</p> <p>資料には、吹き出しがあり、直接書き込んで使うことができるよさがあります。また、表記については、分かち書きがされている点が大変よいと</p>

思われます。

総じて、児童生徒にとって、国語への関心が高まり、主体的な学習態度が育まれ、人とのコミュニケーションを深めることにつながっていく教科書となっていると考えます。

続きまして、126ページ「さんすう」をご覧ください。

学習指導要領目標との関わりでは、基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、日常の場面や素材と関連付けた学習を多く取り入れ、習得できるよう工夫された構成になっています。作業や体験を重視した数学的活動を多く取り入れ、算数のよさに気づき、関心・意欲の向上が図られるものと考えます。

内容の特色としましては、数量や図形の学習では、具体物を操作して、数と関連づけることができるようなつくりとなっています。絵や写真が多く使われており、触ったときに凹凸を感じることもできる工夫もあります。作業や体験を通して算数・数学的活動が充実するよう工夫されています。☆☆☆では、単元構成に一貫性があり、児童がつまずいても、すぐ前にもどることができるよさがありました。また、書き込める部分も増えて、学習の振り返りに役立ちます。☆から☆☆☆☆まで、日常の家庭生活や学校生活の場面が多く表現されていて、学習が進めやすいものになっていると考えられます。

資料では、凹凸や透明なシート、フィルムが使われており、児童がめくりやすい素材が使われていました。また、表記は新しい記号、単位などが太字で書かれている工夫がありました。

総じて、児童生徒の数量的な感覚を豊かにし、興味・関心をもって数量や図形についての理解の必要性を感じながら、力を高めていくことができる教科書となっていると考えます。

続きまして、「おんがく」です。

学習指導要領目標との関わりでは、「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心をもつ」ために、さまざまな楽器に触れたり、楽器をつくったりすることで、意欲を向上させるような教材が選ばれています。また、「美しさや楽しさを味わう」ために、曲がイメージしやすい絵や写真が使われています。

内容の特色としましては、基礎的・基本的知識、技能の習得に向けて、それぞれの発達段階に応じて、音楽に合わせて、体全体を動かして楽しむことができるよう曲が選定されています。また、主体的に学習に取り組ませるための工夫として、歌の一部を口ずさめるような繰り返しの多い曲から、独唱・斉唱・簡単な輪唱へつながるような構成となっています。取り扱う曲目は、児童の興味・関心があること、情操を豊かにすること、情緒

	<p>の安定を図ること、身体表現を活発にすること、自己表現活動ができること、創造的な音楽活動ができることを考慮した教材が選定されております。</p> <p>資料の楽譜は、鍵盤と同じ色で塗られており、文字が読めなかったり、楽譜を追うことが難しかったりする児童が取り組みやすいよう工夫されております。また、表記は、文字が少なく、絵や写真で表記されています。さらに漢字には、必ずルビがふってあります。</p> <p>知的な課題がある児童生徒にとって、情緒の安定、注意の集中、集団参加や協力の態度の育成を図ることは極めて重要であり、その目的を果たす上では音楽の果たす役割は大きいと考えられます。</p> <p>総じて、この教科書は、題材の取り上げ方、曲の選定が考慮されていて、絵や簡潔な文章はイメージをもたせやすいものでございます。音楽によって生活を豊かにすることができる教科書であると考えております。</p> <p>以上で、報告を終わります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。委員の皆さんから御質問はございませんでしょうか。</p> <p>御報告、ありがとうございました。</p> <p>では、引き続き御意見、御感想はいかがでしょうか。</p> <p>では、この投票用紙の下部に書いてありますように、特別支援につきましては、採択は児童と生徒の実態に合わせて使用するにふさわしいかどうかを判定し、○印を御記入いただけたらと思います。</p>
議長	<p>それでは、以上で調査研究報告を終了いたします。</p> <p>次に投票に移ります。まず、小学校教科用図書の投票を行います。それではここで、傍聴人には一時退席をお願いしたいと思います。</p> <p>小学校の投票につきまして、投票用紙の回収をお願いします。</p>
司会	<p>それでは、このあと空の投票箱を事務局で持ちまして、投票用紙を集めさせていただきます。投票用紙につきましては半分の半分、4分の1に折っていただいて上から入れていただけたらと思います。</p>
議長	<p>それでは、立会人の立会いのもと、開票をお願いしたいと思います。</p>
司会	<p>では、開けさせていただきます。</p>
開票・発表 (小学校)	<p>(非公開)</p>

議長	<p>傍聴人の入室をお願いします。</p> <p>それでは、事務局より小学校の投票結果の確認をお願いいたします。</p>
司会	<p>それでは、投票の結果を確認いたします。発行者番号 発行者略称 得点の順に読み上げます。</p> <p>小学校国語 2東書18点 11学図16点 17教出19点 38光村25点</p> <p>書写 2東書17点 11学図16点 17教出20点 38光村25点 116日文16点</p> <p>社会 2東書25点 17教出16点 116日文17点</p> <p>地図 2東書20点 46帝国23点</p> <p>算数 2東書25点 4大日本16点 11学図16点 17教出16点 61啓林館18点 116日文15点</p> <p>理科 2東書19点 4大日本23点 11学図21点 17教出16点 61啓林館15点</p> <p>生活 2東書20点 4大日本14点 11学図24点 17教出16点 38光村15点 61啓林館15点 116日文15点</p> <p>音楽 17教出18点 27教芸24点</p> <p>図工 9開隆堂25点 116日文17点</p> <p>家庭 2東書22点 9開隆堂23点</p> <p>保健 2東書17点 4大日本15点 207文教社16点 208光文22点 224学研24点</p> <p>英語 2東書22点 9開隆堂19点 11学図17点 15三省堂16点 17教出15点 38光村23点 61啓林館17点</p> <p>道徳 2東書17点 11学図15点 17教出15点 38光村18点 116日文15点 208光文17点 224学研25点 232廣あかつき15点</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、中学校の教科用図書の投票を行います。ここで再び傍聴人は一時退席をお願いいたします。</p> <p>それでは、投票用紙の回収をお願いいたします。</p> <p>それでは、立会人の立会いのもと、開票をお願いしたいと思います。</p>

開票・発表 (中学校)	(非公開)
議長	傍聴人の入室をお願いします。 それでは、事務局より中学校の投票結果の確認をお願いいたします。
司会	<p>それでは、投票の結果を確認いたします。発行者番号 発行者略称 得点の順に読み上げます。</p> <p>中学校国語 2東書16点 11学図17点 15三省堂16点 17教出16点 38光村25点</p> <p>書写 2東書16点 11学図16点 15三省堂16点 17教出22点 38光村24点</p> <p>社会(地理) 2東書25点 17教出18点 46帝国18点 116日文16点</p> <p>社会(歴史) 2東書25点 17教出17点 35清水15点 46帝国17点 116日文15点 225自由社15点 227育鵬社15点 229学び舎14点</p> <p>社会(公民) 2東書25点 17教出16点 35清水15点 46帝国18点 116日文15点 225自由社14点 227育鵬社15点</p> <p>社会(地図) 2東書18点 46帝国25点</p> <p>数学 2東書25点 4大日本16点 11学図16点 17教出19点 61啓林館17点 104数研16点 116日文16点</p> <p>理科 2東書19点 4大日本16点 11学図24点 17教出16点 61啓林館17点</p> <p>音楽(一般) 17教出19点 27教芸25点</p> <p>音楽(器楽) 17教出19点 27教芸25点</p> <p>美術 9開隆堂25点 38光村17点 116日文17点</p> <p>保健体育 2東書19点 4大日本16点 50大修館16点 224学研25点</p> <p>技・家(技術) 2東書18点 6教図17点 9開隆堂25点</p> <p>技・家(家庭) 2東書18点 6教図16点 9開隆堂25点</p> <p>英語 2東書22点 9開隆堂17点 11学図24点 15三省堂16点 17教出16点 38光村16点</p> <p>小・中学校特別支援 2東書(国語)、17教出(算数・数学) 2東書(音楽)すべての教科に5名が○をつけています。</p>

	以上でございます。
議長	<p>本会のはじめに事務局が申し上げましたが、ただいま発表された選定委員会における投票結果、また、各学校における調査研究の結果、教科書展示会でのアンケート、これらすべての資料につきましては、久喜市教育委員会令和元年7月定例会に提出いたしたいと思います。</p> <p>それでは、皆様の御協力により、無事議事を進行することができました。どうもありがとうございました。最後になりましたが、情報公開につきまして事務局から説明があります。</p>
事務局	<p>過日の第1回教科書選定委員会の中で承認されましたとおり、「久喜市教科用図書選定委員会情報公開の基準に関する規程」に則りまして、情報公開を行ってまいります。なお、公開の時期につきましては、規程9条に従いまして事務局が東部教育事務所に報告する日の翌日以降とします。令和元年度は、東部教育事務所への採択結果の報告期限が8月22日ですので、翌日の8月23日以降の公開となります。</p>
議長	<p>では、今の事務局案に御質問ある方はお願いします。</p> <p>このかたちで、情報公開をしていきたいと考えます。</p> <p>規約規程により、議長の任を解かせていただきます。</p> <p>以後の進行を事務局にお願いします。</p>
司会	<p>会長の村田様、ありがとうございました。</p> <p>それでは諸連絡を事務局よりご説明申し上げます。</p>
事務局	<p>このあと、本日の結果を久喜市教育委員会7月定例会に提出いたしまして、会長、副会長から説明したのち、採択となると伺っております。本日の資料につきましては、この後、回収させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
司会	<p>閉会の言葉を副会長 穂村 憲久様、よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>大変お疲れ様でした。これをもちまして、令和元年度第2回久喜市教科用図書選定委員会を終了いたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p>

上記の内容に相違ありません。

令和元年 7月27日

久喜市教科用図書選定委員会 委員長

村田文雄 